

## 第3章 調査結果の分析



# 1 定住性

- 
- (1) 居住地域の評価
  - (2) 居住地域評価の経年比較
  - (3) 地域の暮らしやすさ
  - (4) 特に暮らしにくいと感じること
  - (5) 定住意向
-



# 1 定住性

## (1) 居住地域の評価

■ 〈 普段の買い物が便利である 〉と感じている人は7割台半ば

問1 あなたは、お住まいの地域について、どのように感じていますか  
(〇はそれぞれ1つずつ)。

図1-1-1-① 経年比較／居住地域の評価

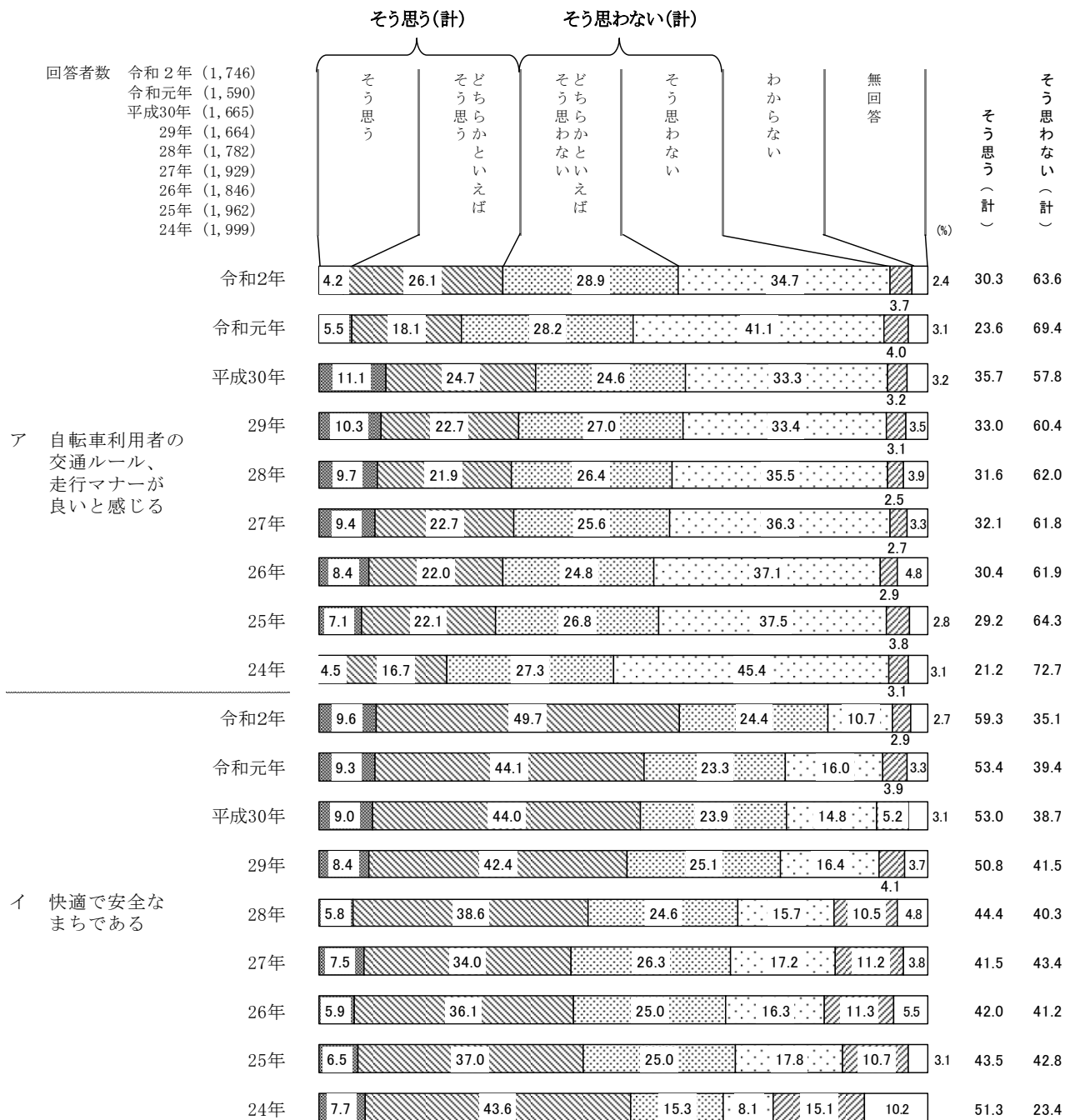


図1-1-1-② 経年比較／居住地域の評価

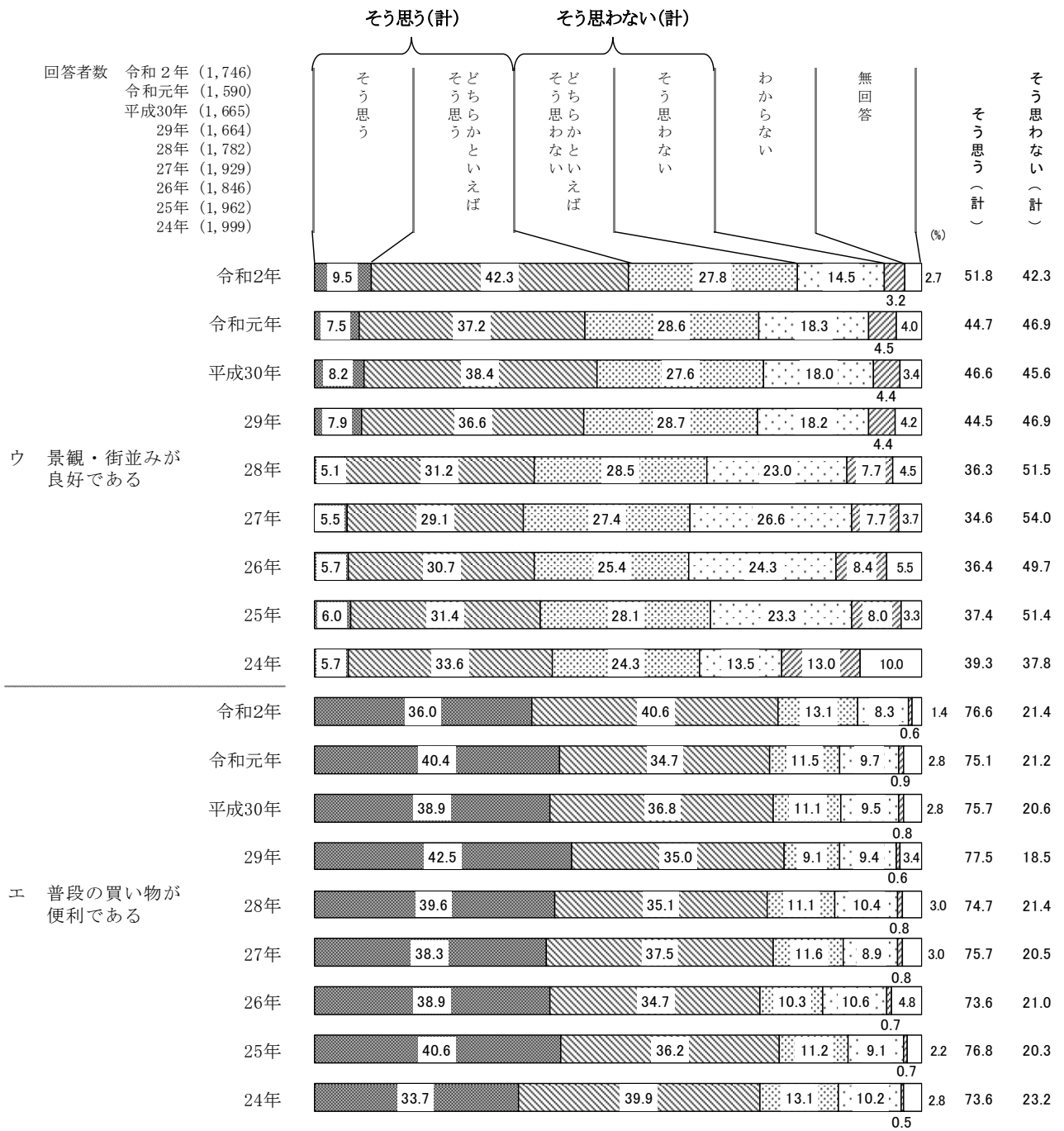


図1-1-1-③ 経年比較／居住地域の評価

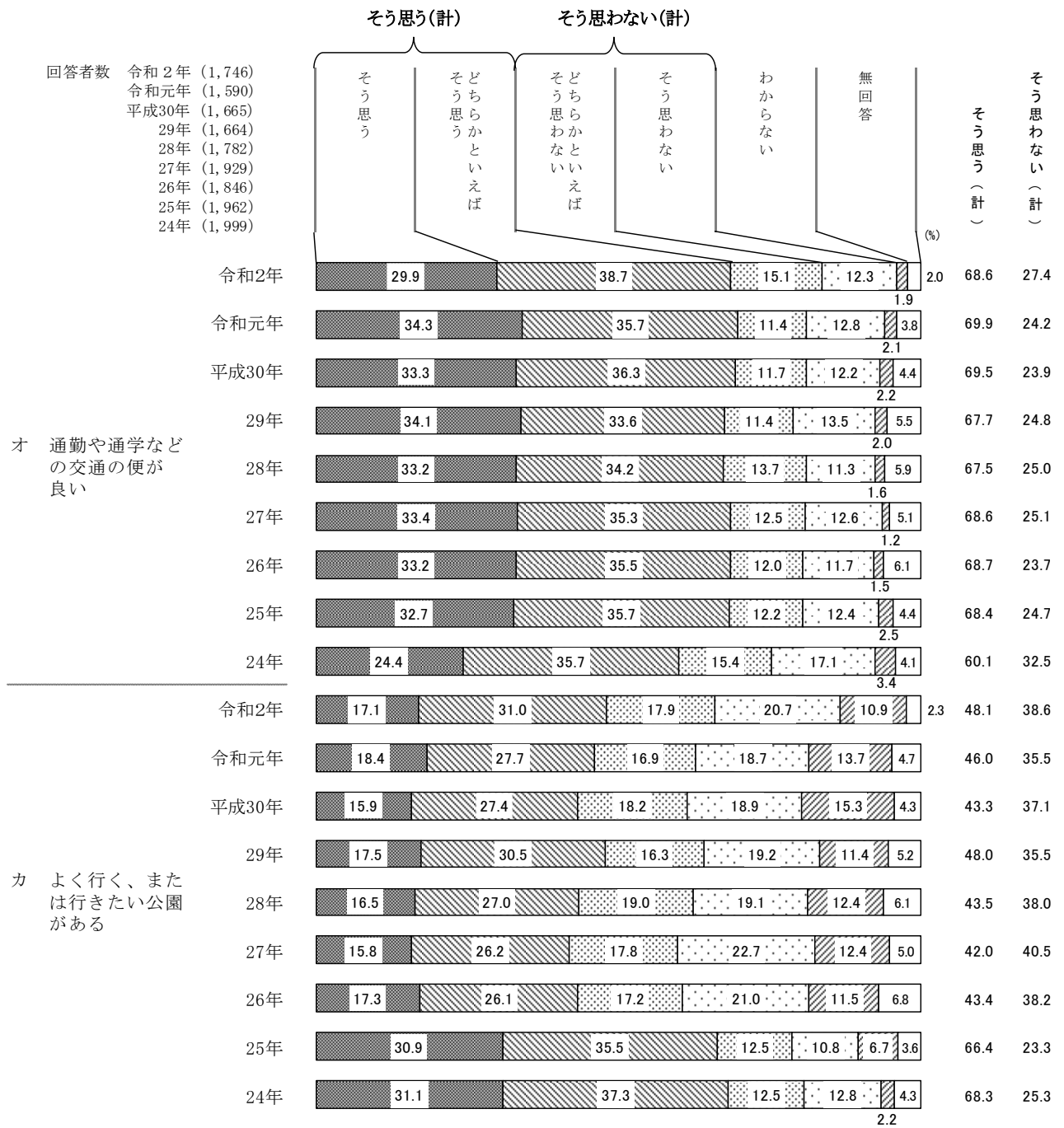
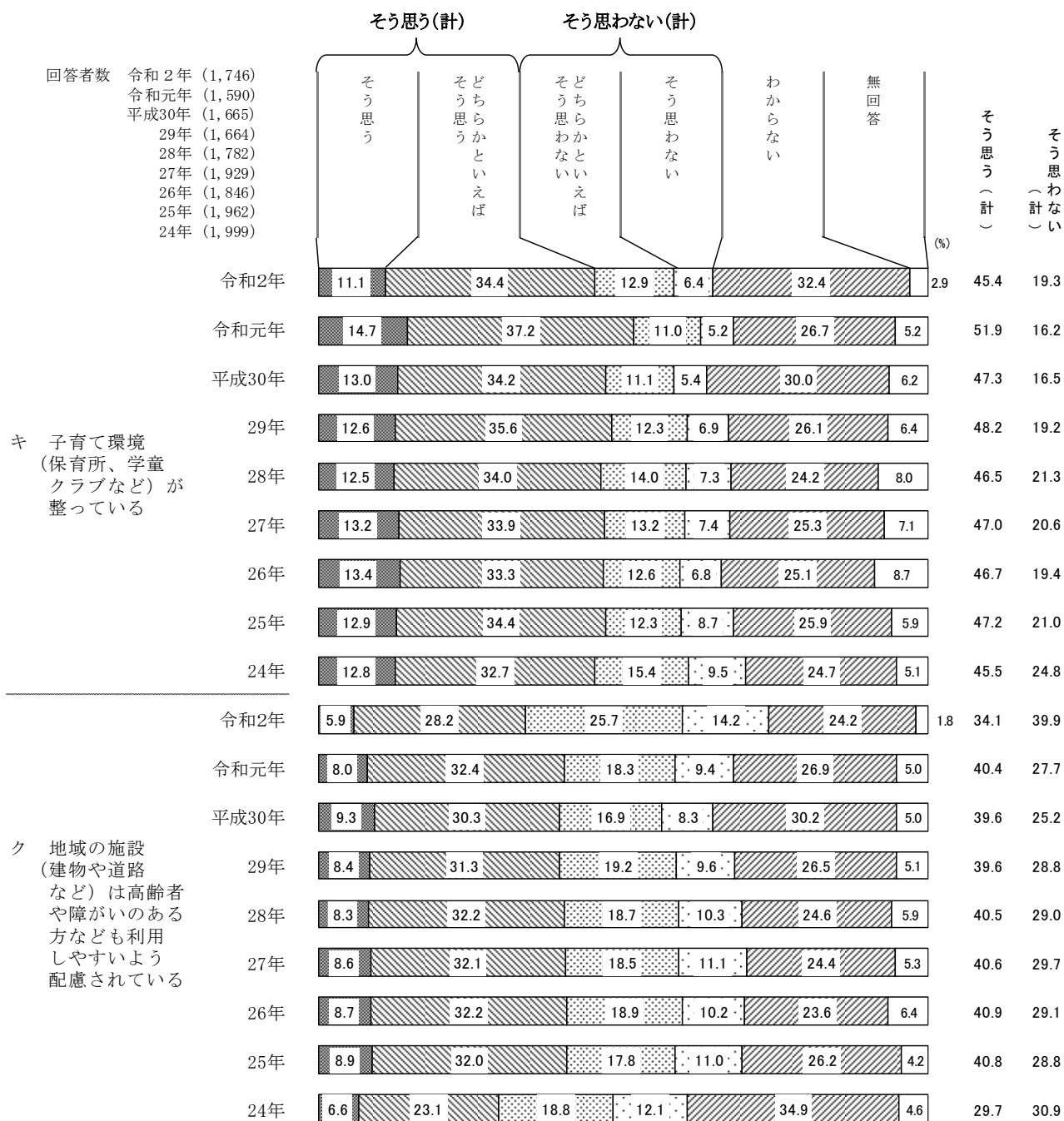


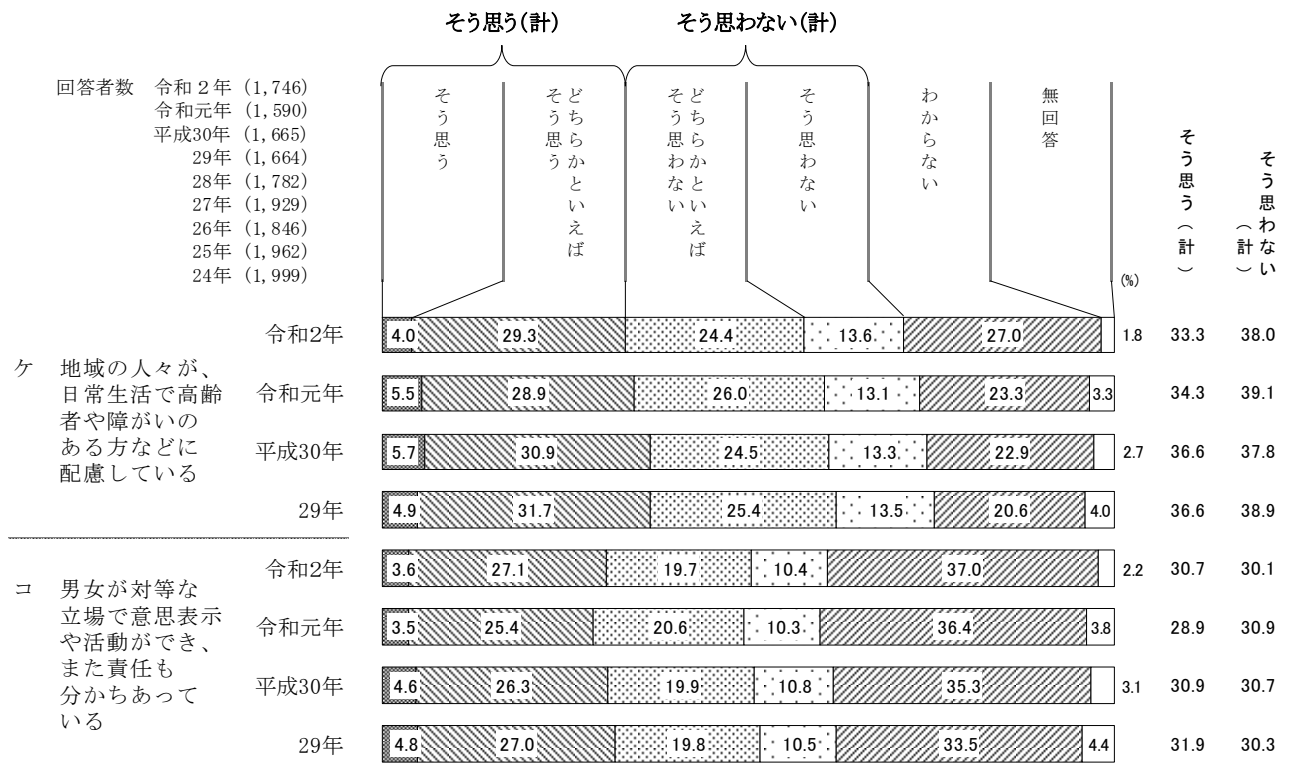
図1-1-1-④ 経年比較／居住地域の評価



- ※ アは、令和元年度「自転車、歩行者は交通ルール、交通マナーをよく守っている」から表現をかえた。
- ※ イは、平成28年度「快適で安全なまちづくりが進められている」から表現をかえた。
- ※ ウは、平成28年度「景観・街並みが魅力的になってきている」から表現をかえた。
- ※ カは、平成25年度「利用しやすい公園がある」から表現をかえた。
- ※ クは、平成24年度「高齢者や障がいのある方も施設が利用しやすい」から表現をかえて、令和2年度に「地域の施設」の部分に「地域の施設(建物や道路など)」に表現をかえた。



図1-1-1-⑤ 経年比較／居住地域の評価



住んでいる地域について感じていることを、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた【そう思う】の高い順でみると、〈普段の買い物が便利である〉が76.6%で最も高く、以下〈通勤や通学などの交通の便が良い〉68.6%、〈快適で安全なまちである〉59.3%の順となっている。

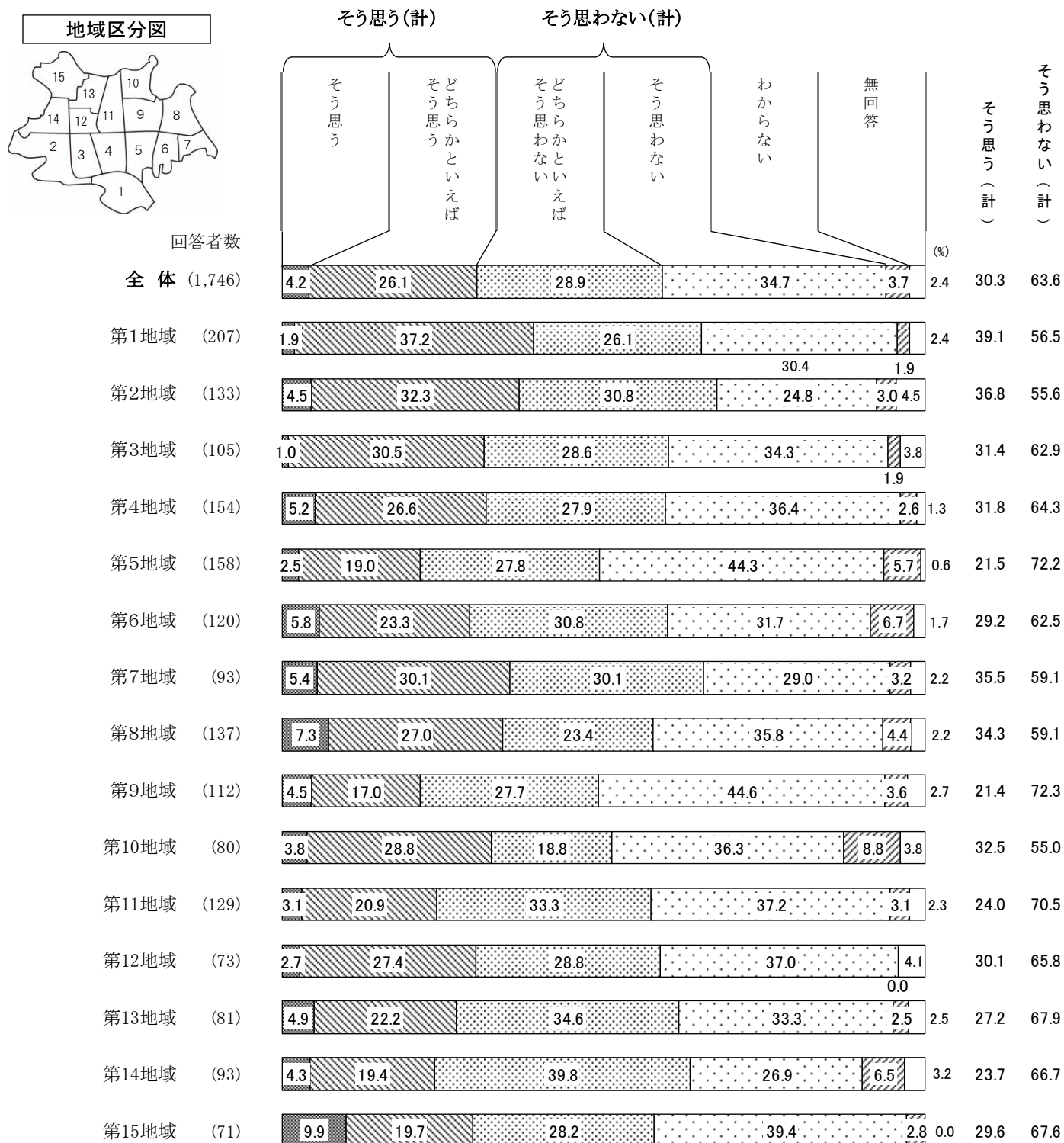
経年で比較すると、今回の調査では、10項目のうち6項目で【そう思う】が令和元年調査に比べて増加しており、中でも〈景観・街並みが良好である〉(+7.1ポイント)、〈自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる〉(+6.7ポイント)、〈快適で安全なまちである〉(+5.9ポイント)の3項目で増加幅が大きめとなっている。一方で、10項目のうち4項目で【そう思う】が令和元年調査に比べて減少しており、中では〈子育て環境(保育所、学童クラブなど)が整っている〉(-6.5ポイント)と〈地域の施設(建物や道路など)は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている〉(-6.3ポイント)の2項目で減少幅が大きめとなっている。

第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

次に、各項目について、地域別でみた。

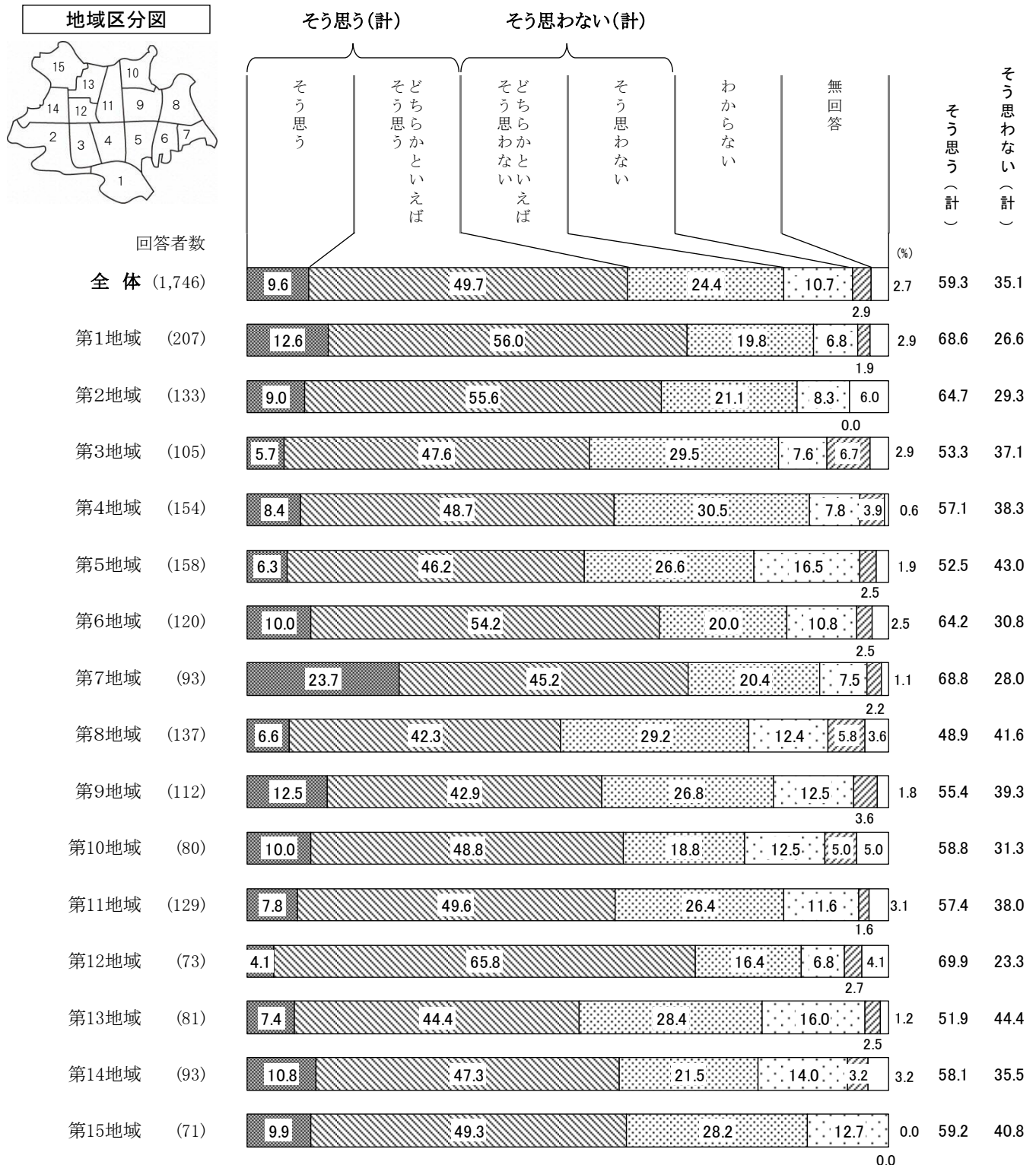
〈自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる〉について、【そう思う】は第1地域で39.1%と最も高く、次いで第2地域が36.8%となっている。一方、【そう思わない】は第9地域で72.3%と最も高く、第5地域が72.2%と僅差で続くが、第11地域でも7割を超えて高くなっている。

図1-1-2-① 地域別／居住地域の評価  
／自転車利用者の交通ルール、走行マナーが良いと感じる



〈快適で安全なまちである〉について、【**そう思う**】は第12地域で69.9%と最も高く、次いで第7地域が68.8%、第1地域が68.6%の僅差で続き高くなっている。一方、【**そう思わない**】は第13地域で44.4%と最も高く、次いで第5地域が43.0%で高くなっている。

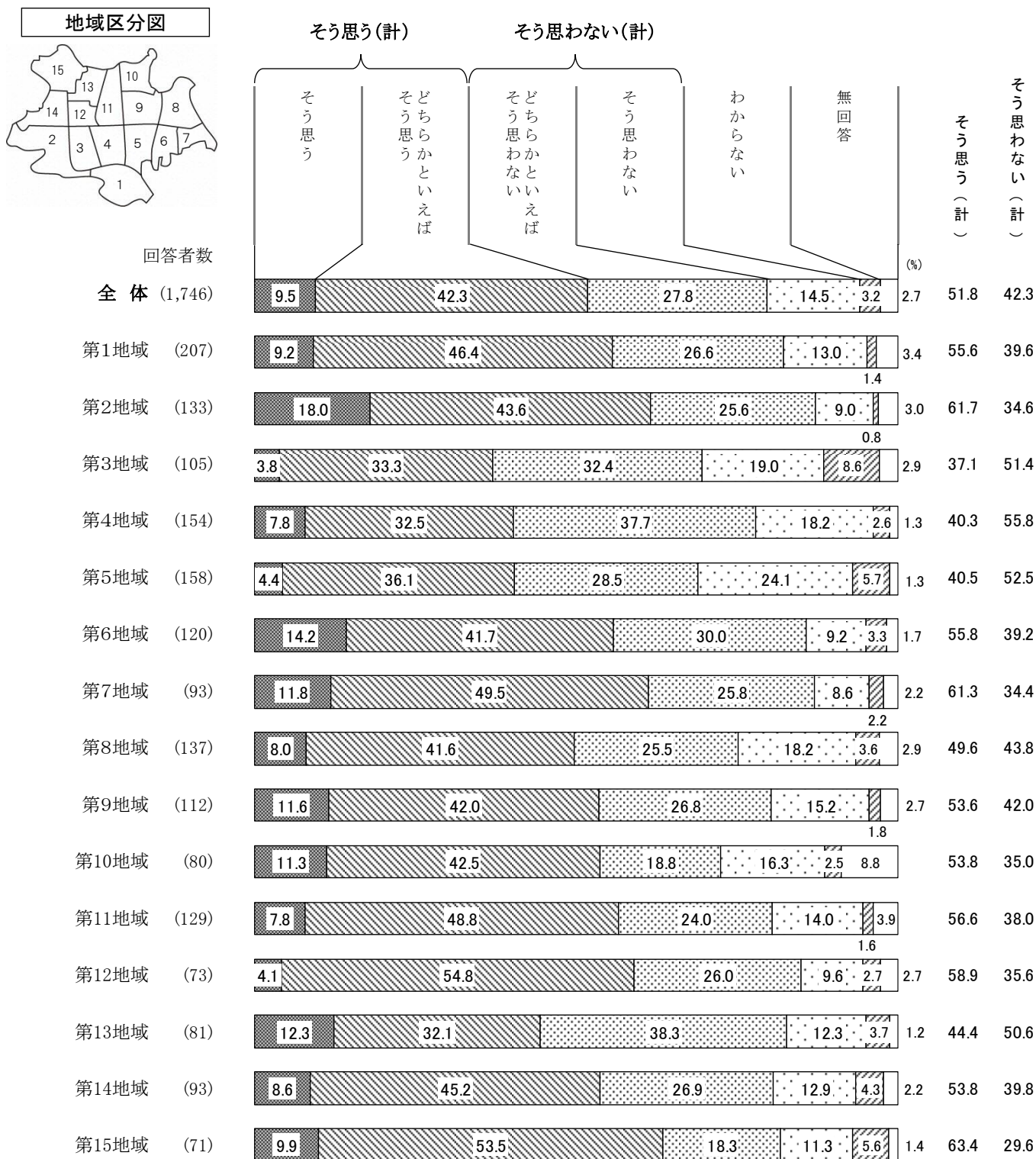
図1-1-2-② 地域別／居住地域の評価／快適で安全なまちである



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

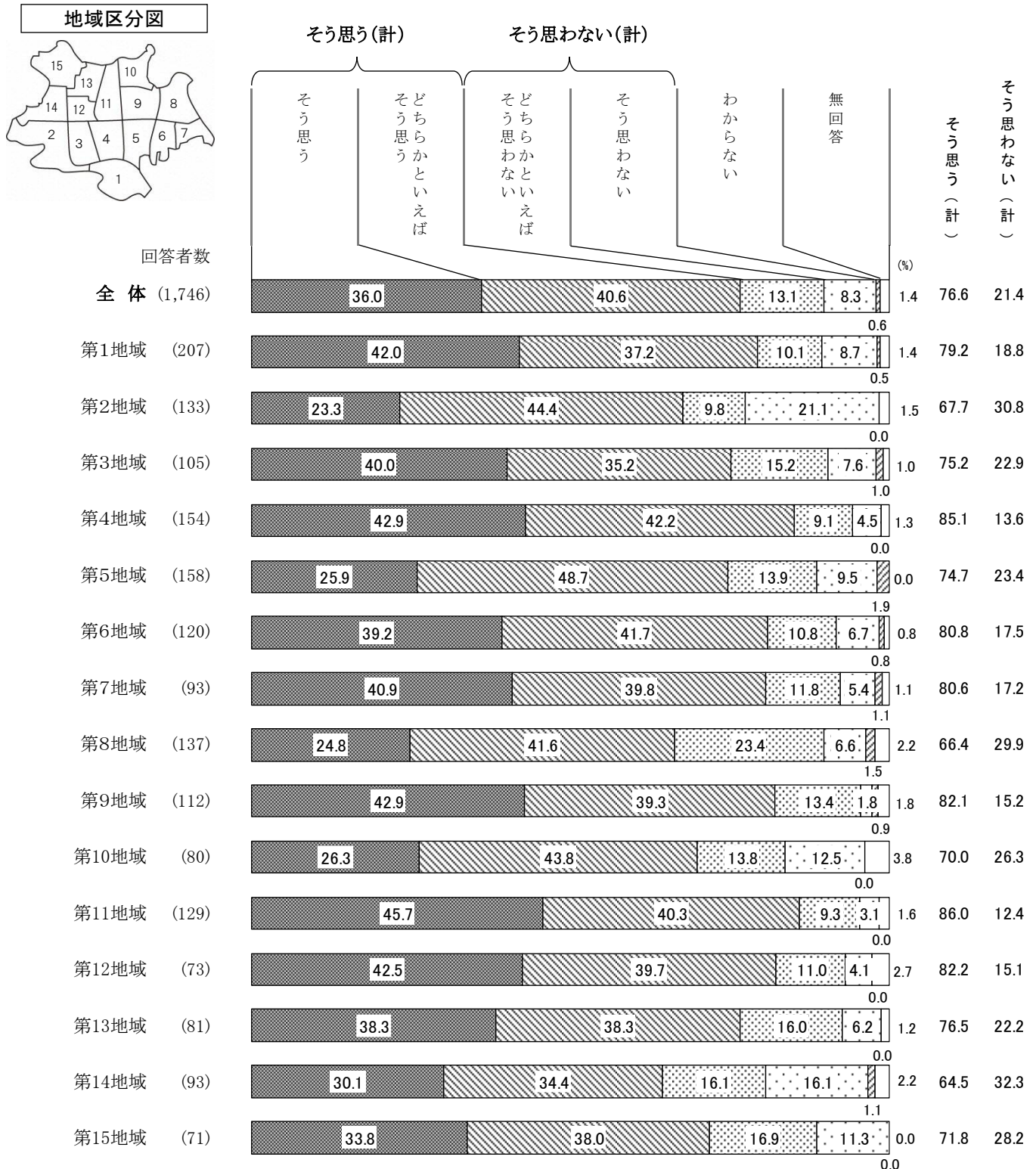
〈 景観・街並みが良好である 〉について、【**そう思う**】は第15地域で63.4%と最も高く、これに第2地域と第7地域が6割台で続き高くなっている。一方、【**そう思わない**】は第4地域で55.8%と最も高く、次いで第5地域で52.5%となっている。

図1-1-2-③ 地域別／居住地域の評価／景観・街並みが良好である



〈 普段の買い物が便利である 〉について、【 そう思う 】は第11地域が86.0%で最も高く、次いで第4地域が85.1%となっている。一方、【 そう思わない 】は第14地域で32.3%と最も高く、次いで第2地域が30.8%となっている。

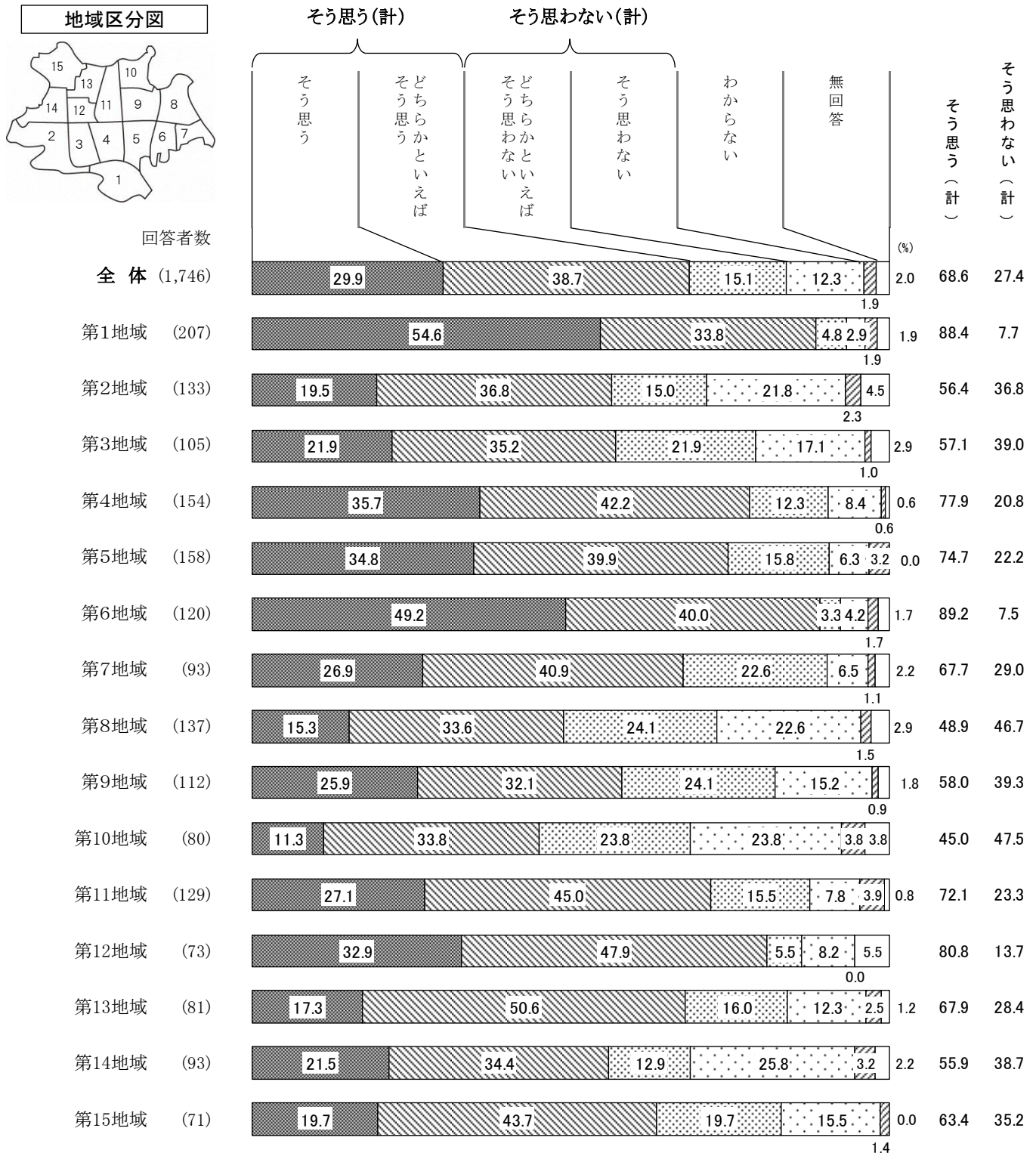
図1-1-2-④ 地域別／居住地域の評価／普段の買い物が便利である



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

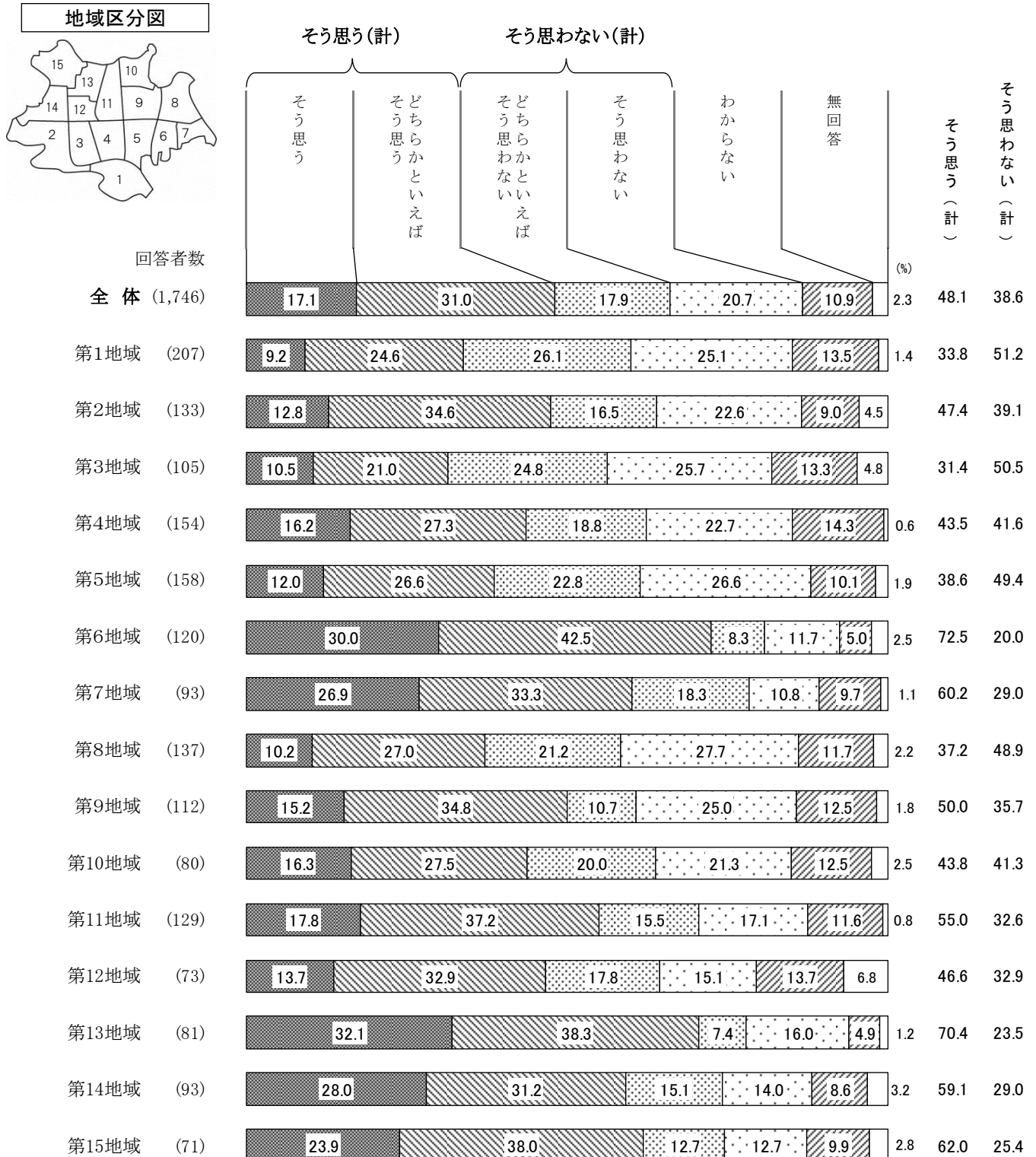
〈通勤や通学などの交通の便が良い〉について、【そう思う】は第6地域が89.2%と最も高く、次いで第1地域が88.4%となっている。一方、【そう思わない】は第10地域で47.5%と最も高く、これに第8地域が46.7%で続き、この2地域で高くなっている。

図1-1-2-⑤ 地域別／居住地域の評価／通勤や通学などの交通の便が良い



〈よく行く、または行きたい公園がある〉について、【**そう思う**】は第6地域で72.5%と最も高く、次いで第13地域が70.4%で続き、この2地域で高くなっている。一方、【**そう思わない**】は第1地域で51.2%と最も高く、次いで第3地域が50.5%、第5地域が49.4%で続き高くなっている。

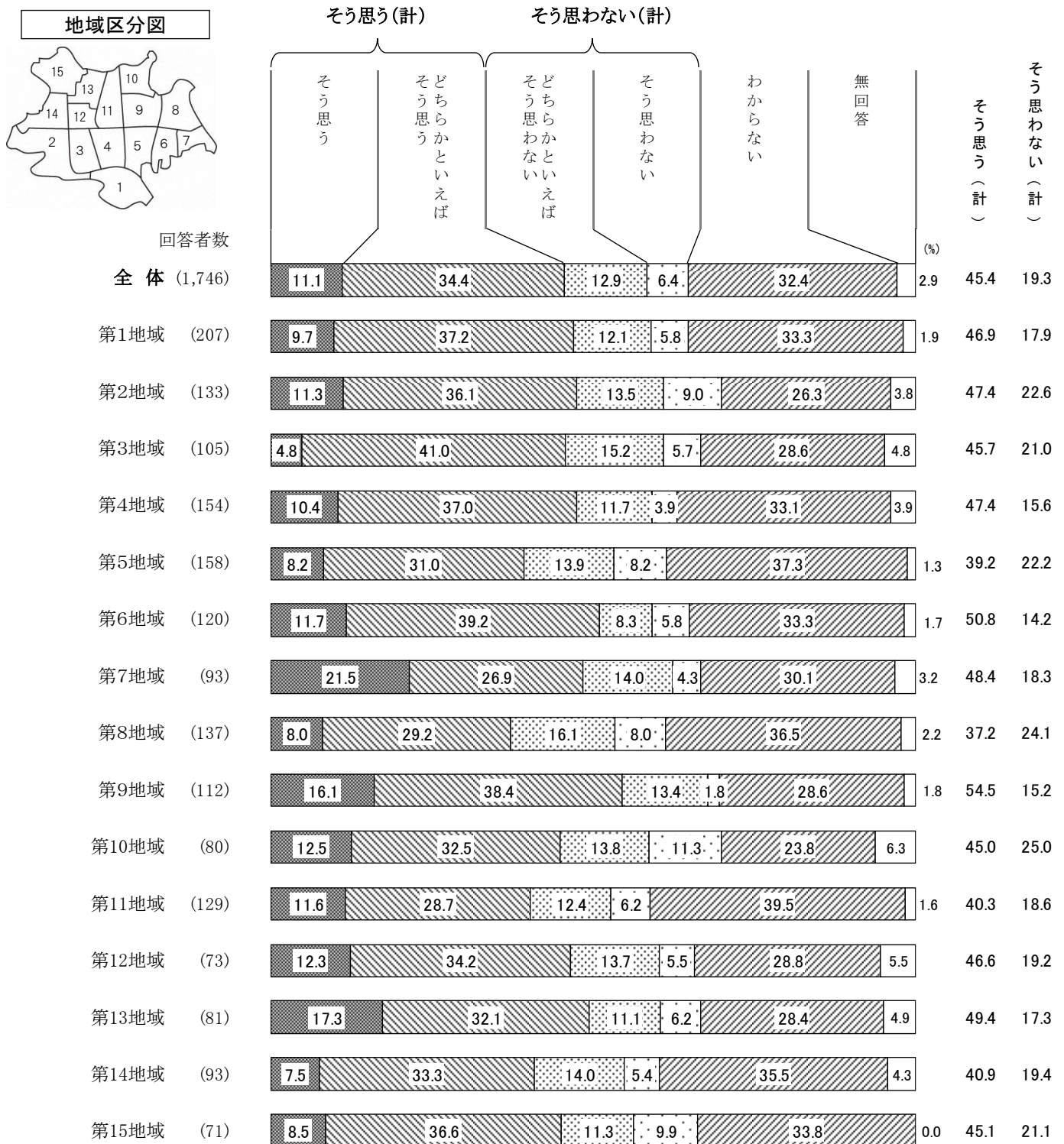
図1-1-2-⑥ 地域別／居住地域の評価／よく行く、または行きたい公園がある



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

〈子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている〉について、【そう思う】は第9地域で54.5%と最も高く、次いで第6地域が50.8%となっている。一方、【そう思わない】は第10地域で25.0%と最も高く、次いで第8地域が24.1%で高くなっている。

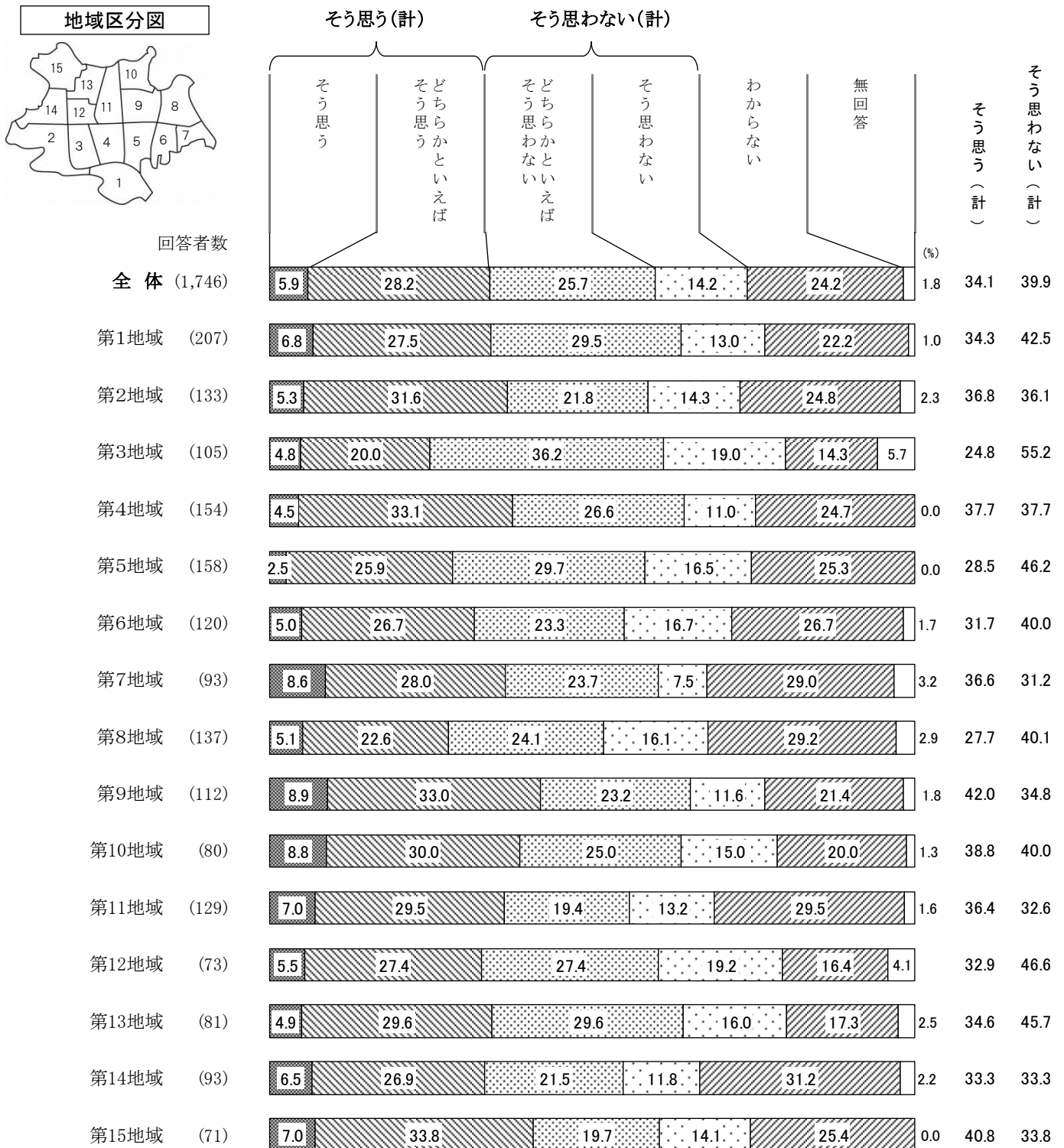
図1-1-2-⑦ 地域別／居住地域の評価／子育て環境（保育所、学童クラブなど）が整っている





〈地域の施設（建物や道路など）は、高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている〉について、【**そう思う**】は第9地域が42.0%で最も高く、次いで第15地域で40.8%となっている。一方、【**そう思わない**】は第3地域で55.2%と最も高くなっている。

図1-1-2-⑧ 地域別／居住地域の評価／地域の施設（建物や道路など）は、  
高齢者や障がいのある方なども利用しやすいよう配慮されている

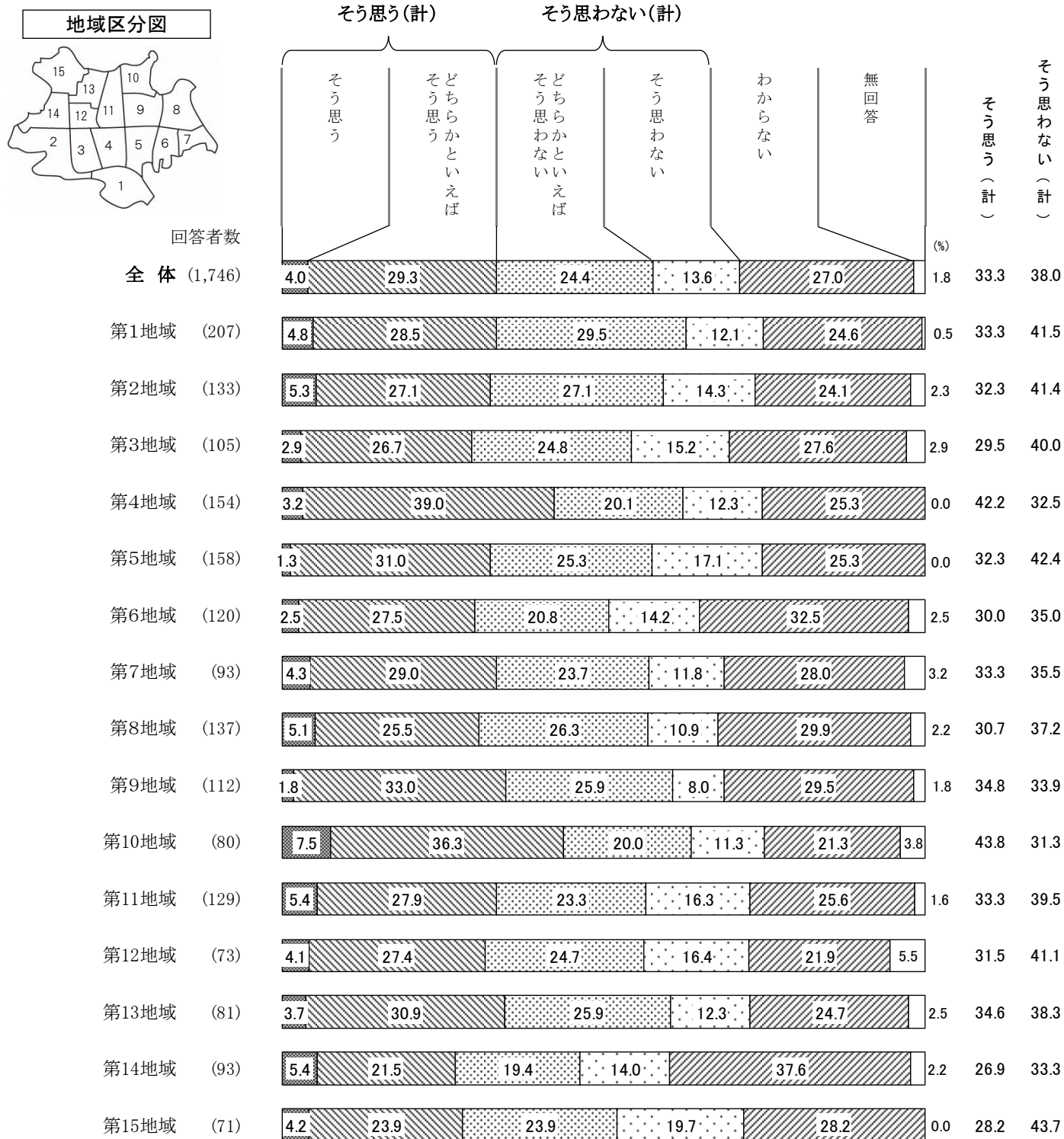


第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

〈地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している〉について、【そう思う】は第10地域が43.8%と最も高く、これに第4地域が42.2%で続いて、この2地域で高くなっている。一方、【そう思わない】は第15地域で43.7%と最も高く、第5地域が42.4%で続いている。

図1-1-2-⑨ 地域別／居住地域の評価

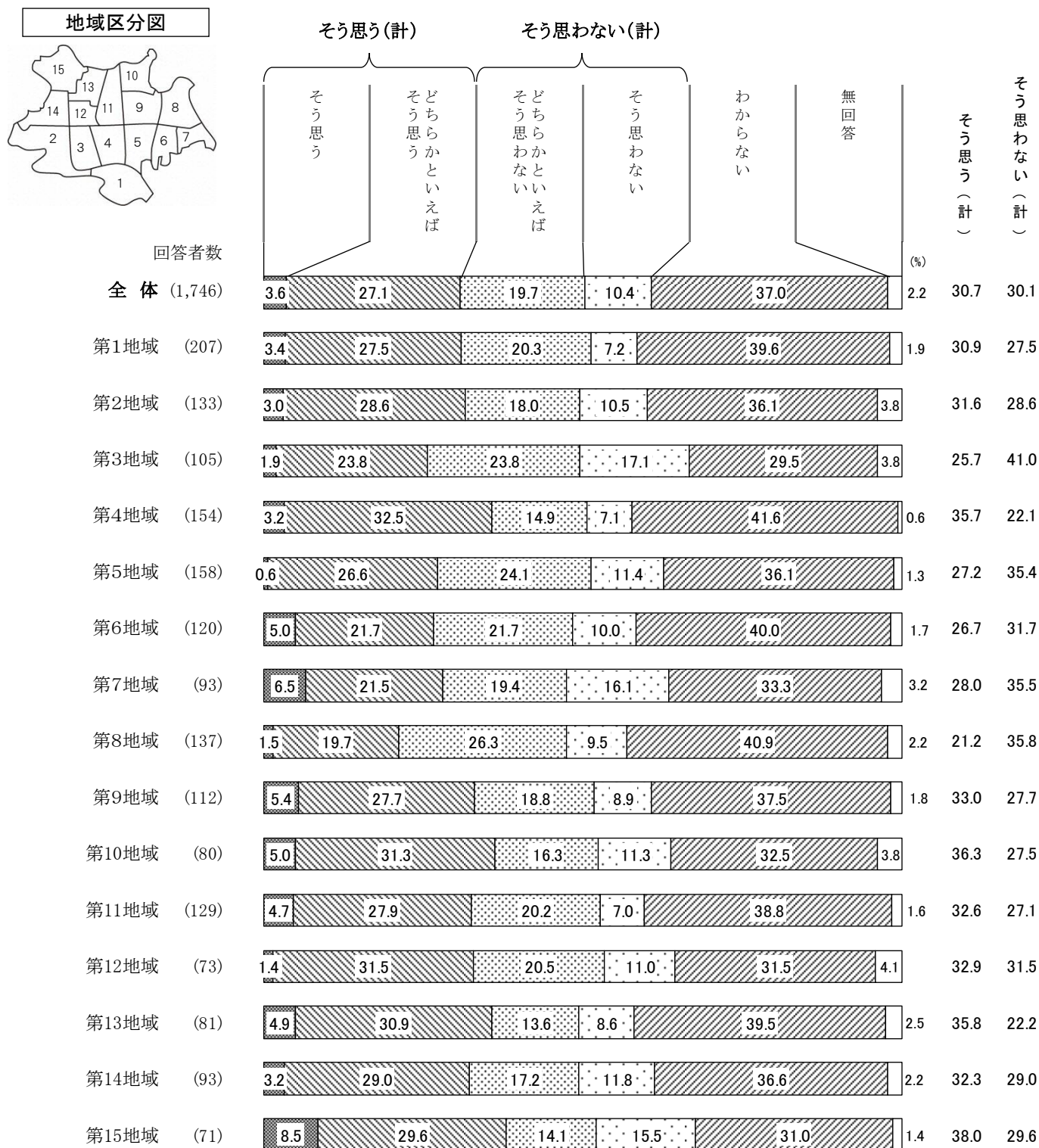
／地域の人々が、日常生活で高齢者や障がいのある方などに配慮している



〈男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている〉について、【**そう思う**】は第15地域で38.0%と最も高く、第10地域が36.3%で続いている。一方、【**そう思わない**】は第3地域で41.0%と最も高くなっている。

図1-1-2-⑩ 地域別／居住地域の評価

／男女が対等な立場で意思表示や活動ができ、また責任も分かちあっている

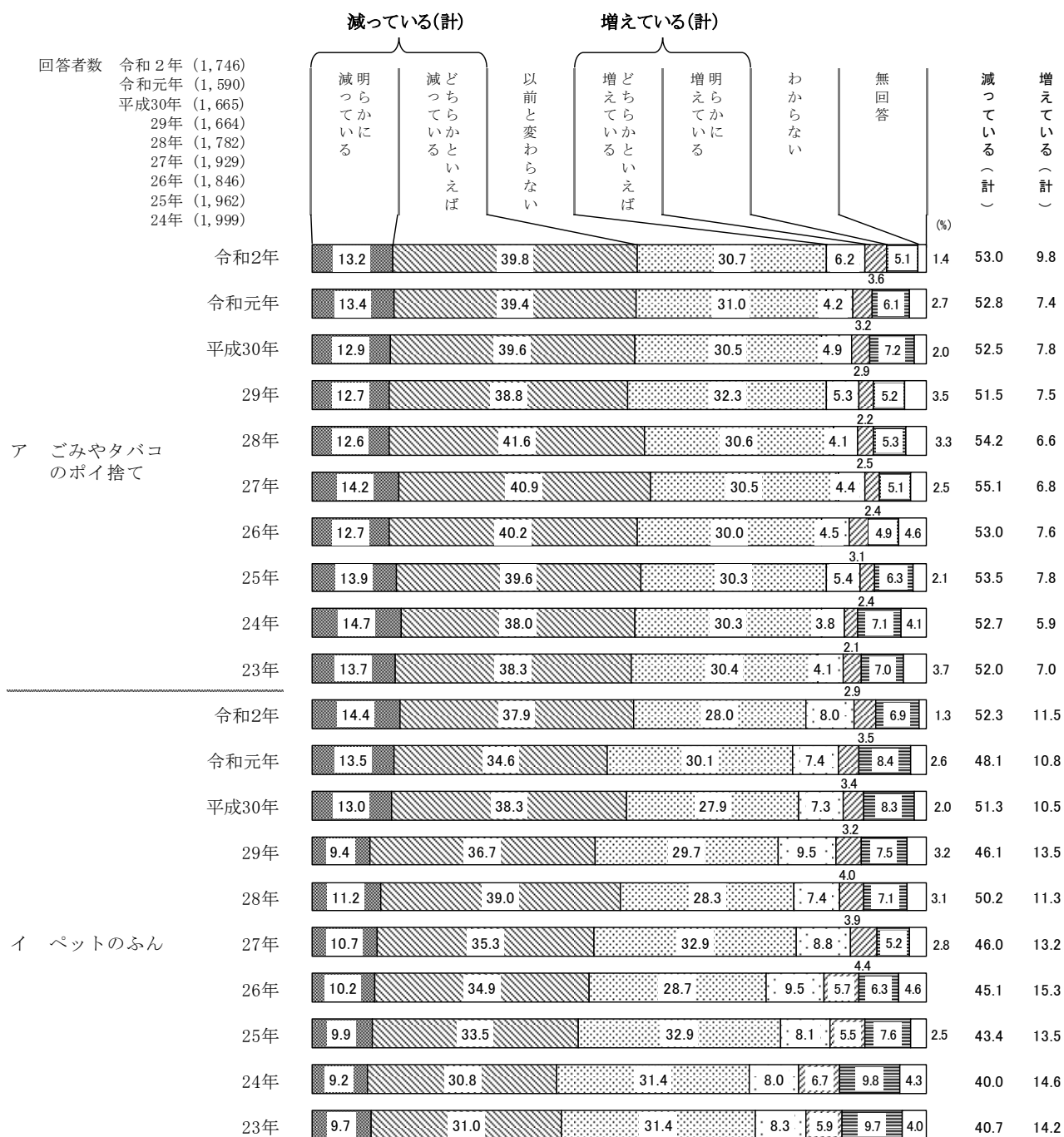


(2) 居住地域評価の経年比較

■ 〈ごみやタバコのポイ捨て〉及び〈ペットのふん〉で、【減っている】がともに5割強

問2 あなたのお住まいの地域についてうかがいます。以下のア～エの項目について、現在は以前と比べてどのように感じていますか（○はそれぞれ1つずつ）。

図1-2-1-① 経年比較／居住地域評価





### 第3章 調査結果の分析〈定住性〉

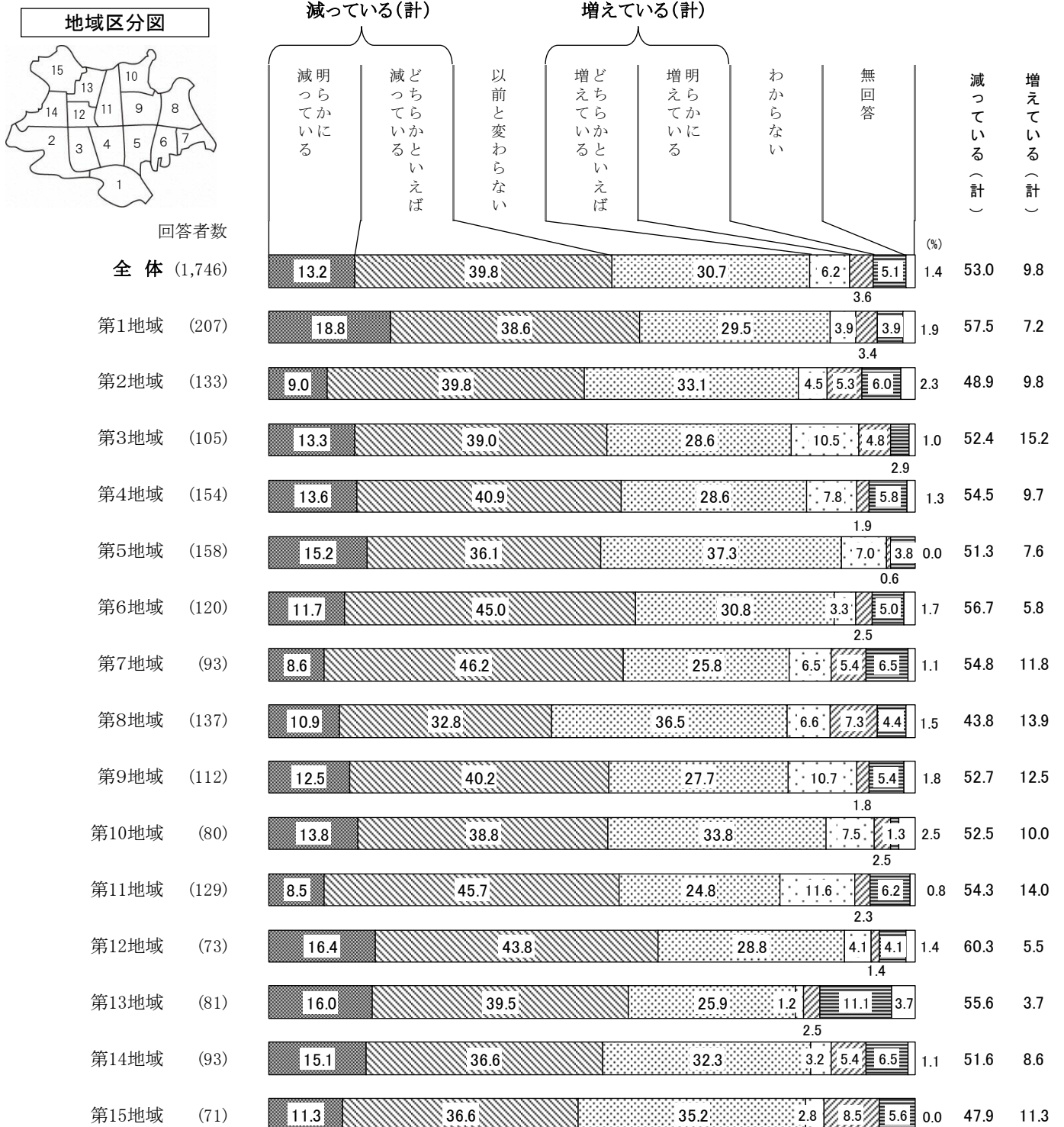
お住まいの地域の状況について、「明らかに減っている」と「どちらかといえば減っている」を合わせた【減っている】の高い順にみると、〈ごみやタバコのポイ捨て〉が53.0%で最も高く、次いで〈ペットのふん〉が52.3%の僅差で続き、ともに5割台前半に達している。一方、「明らかに増えている」と「どちらかといえば増えている」を合わせた【増えている】の高い順にみると、〈まちなかの花や緑〉が27.2%で最も高く、次いで〈防犯パトロール〉が20.5%となっている。

経年で比較すると、〈ペットのふん〉について【減っている】が今回52.3%と前回の令和元年調査の48.1%より4.2ポイント増加して、平成23年以降で最も高くなっており、〈ごみやタバコのポイ捨て〉も【減っている】が前回より僅かながら増加している。一方、〈防犯パトロール〉について【増えている】が今回20.5%と前回の21.8%より1.3ポイント減少し、〈まちなかの花や緑〉も【増えている】が前回より微減している。

各項目について、地域別でみた。

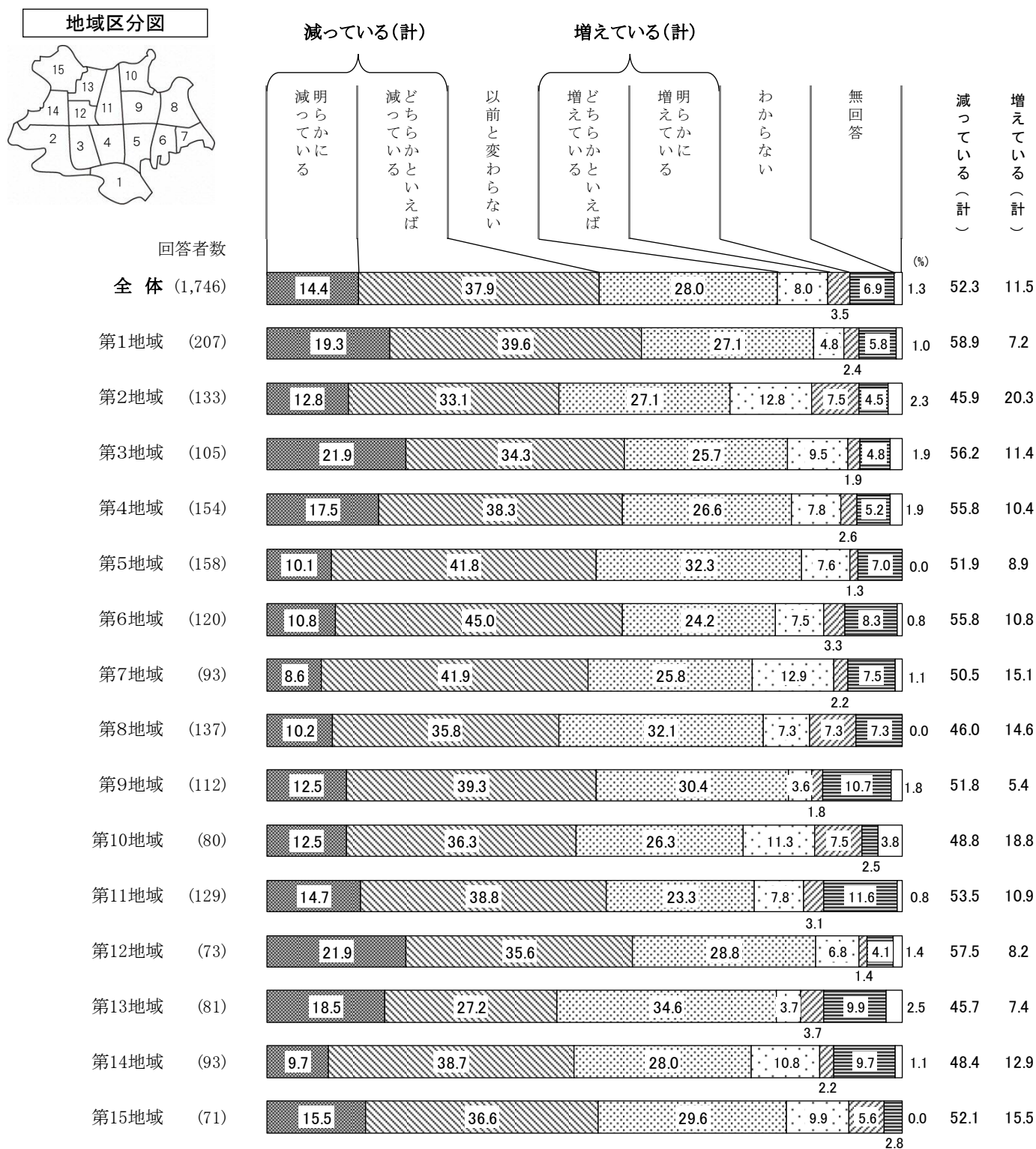
〈ごみやタバコのポイ捨て〉について、【減っている】は第12地域で60.3%と最も高く、次いで第1地域で57.5%と高めとなっている。一方、【増えている】は第3地域で15.2%と最も高く、これに第11地域が14.0%、第8地域が13.9%で続いている。

図1-2-2-① 地域別／ごみやタバコのポイ捨て



〈ペットのふん〉について、【減っている】は第1地域が58.9%と最も高く、次いで第12地域が57.5%で続いている。一方、【増えている】は第2地域で20.3%と最も高く、次いで第10地域が18.8%と高くなっている。

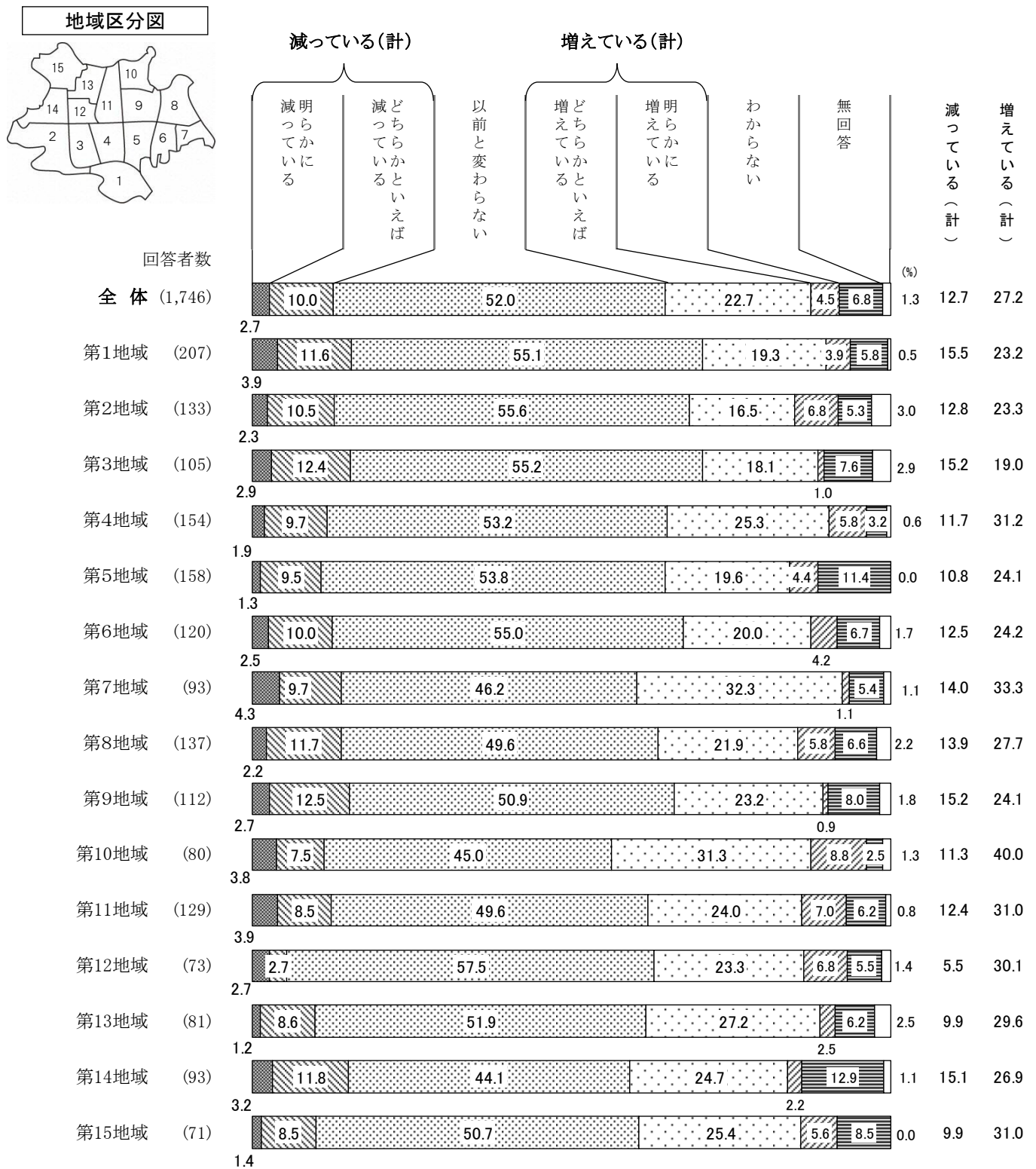
図1-2-2-② 地域別／ペットのふん





〈まちなかの花や緑〉について、【増えている】は第10地域で40.0%と最も高く、次いで第7地域が33.3%で続いている。一方、【減っている】については第1地域が15.5%で最も高いが、第3地域、第9地域、第14地域の3地域も僅差の15%台で並び、それぞれ高めとなっている。

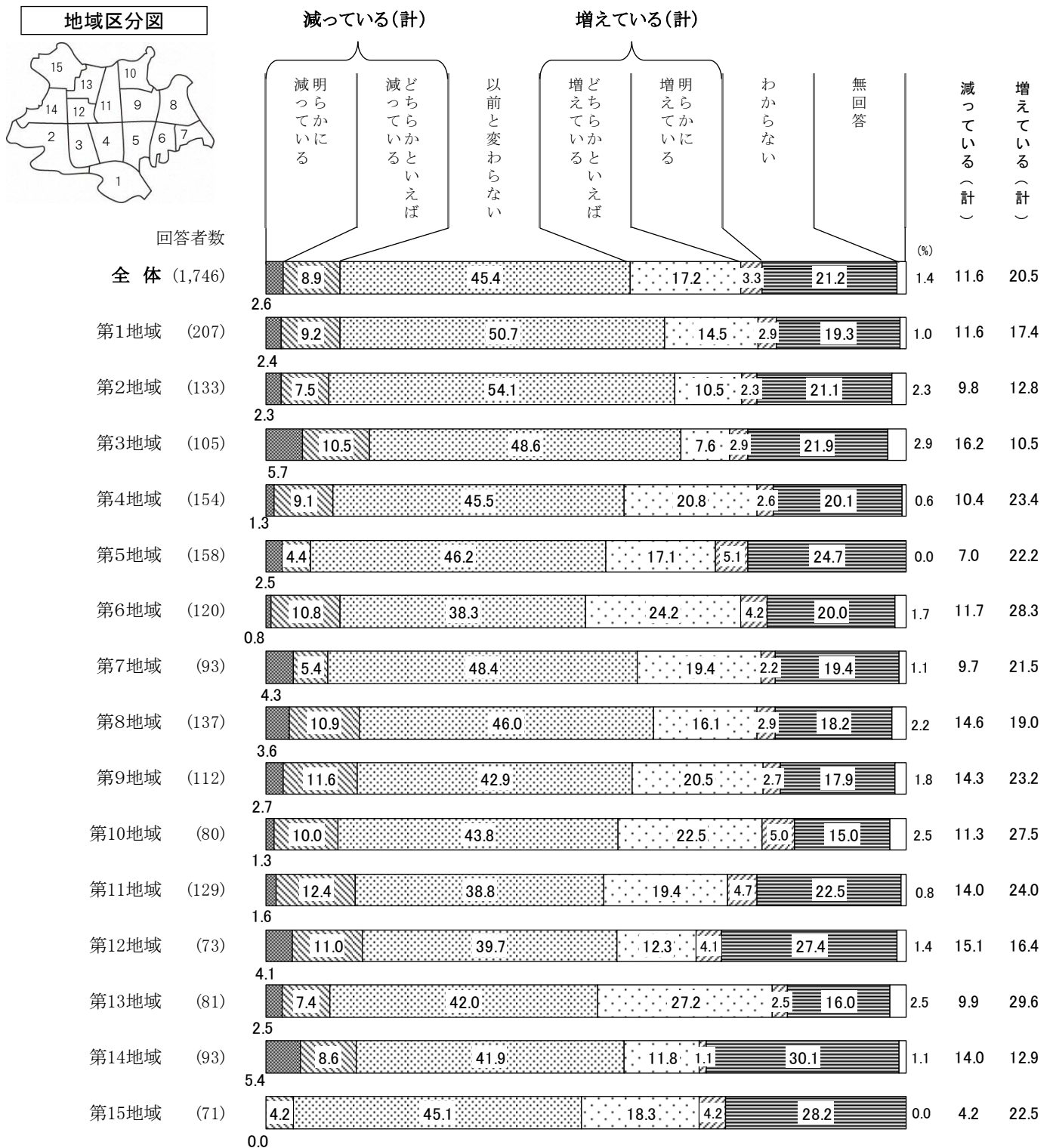
図1-2-2-③ 地域別／まちなかの花や緑



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

〈防犯パトロール〉について、【増えている】は第13地域が29.6%と最も高く、これに第6地域と第10地域が2割台半ば以上で続いている。一方、【減っている】は第3地域で16.2%と最も高く、次いで第12地域の15.1%となっている。

図1-2-2-④ 地域別／防犯パトロール



(3) 地域の暮らしやすさ

■ 【暮らしやすい】は4年続けて8割を超えている

問3 問1、問2を踏まえてお聞きします。あなたは、あなたのお住まいの地域について、暮らしやすいと感じていますか（〇は1つだけ）。

図1-3-1-① 経年比較/地域の暮らしやすさ

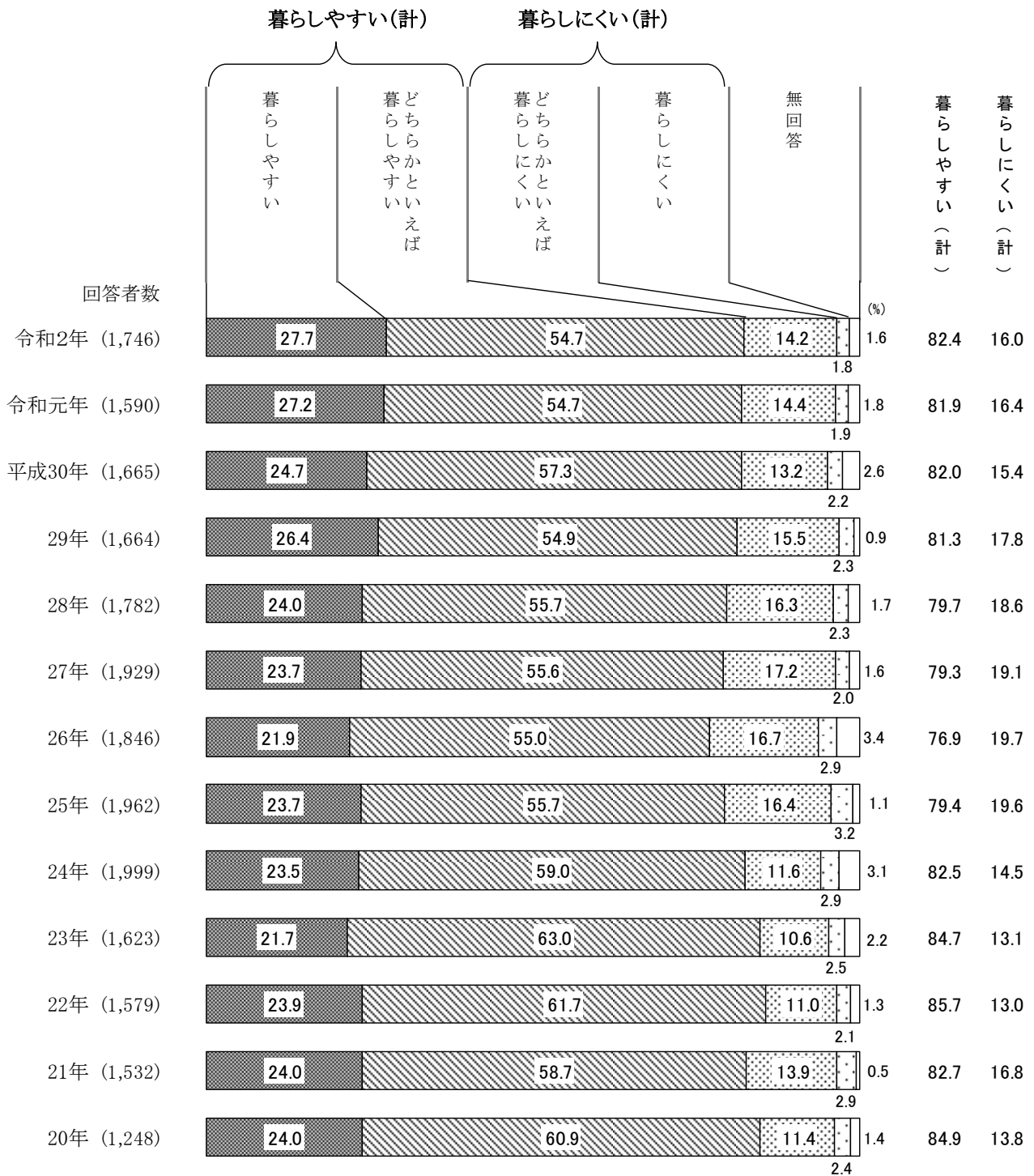
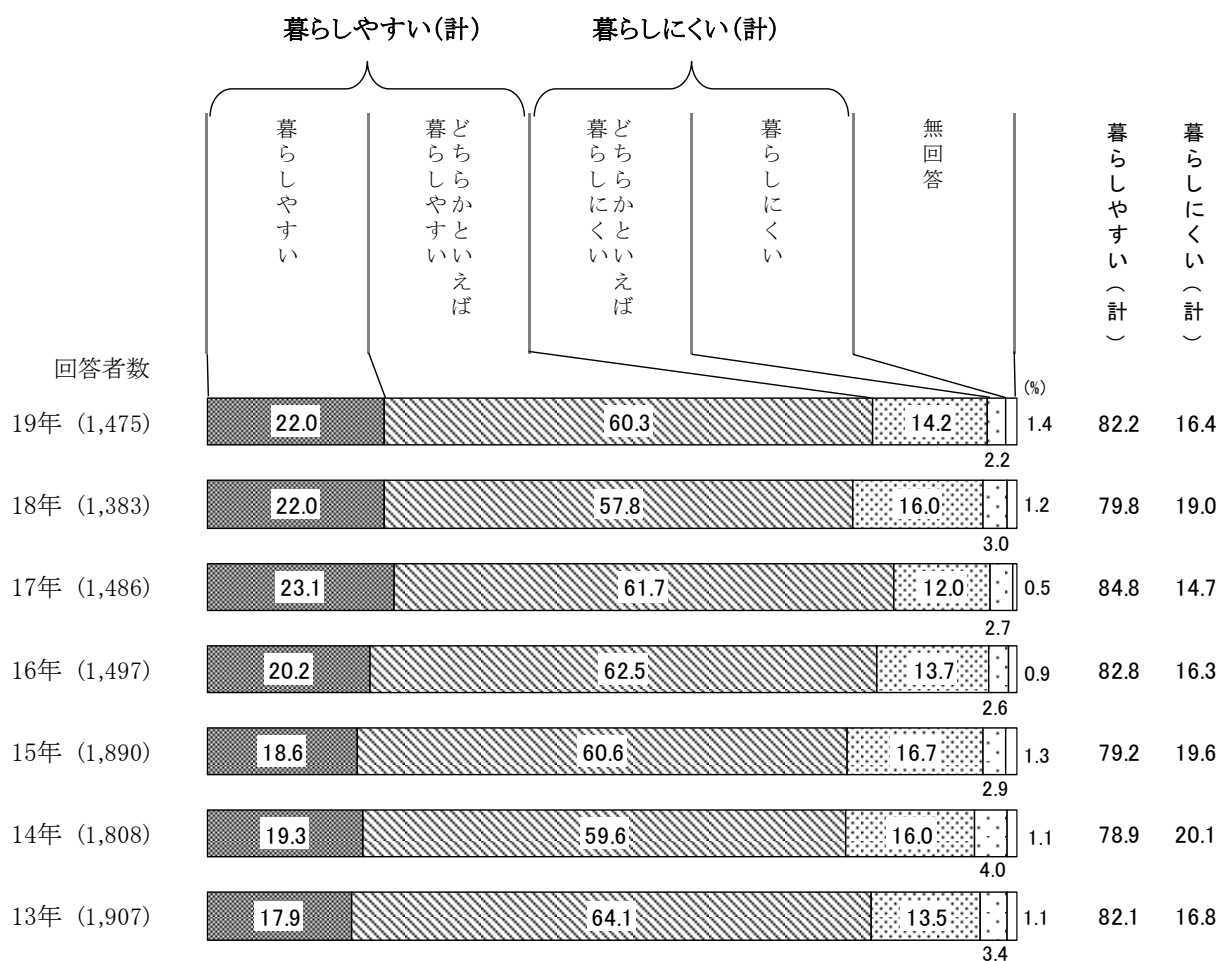


図1-3-1-② 経年比較／地域の暮らしやすさ

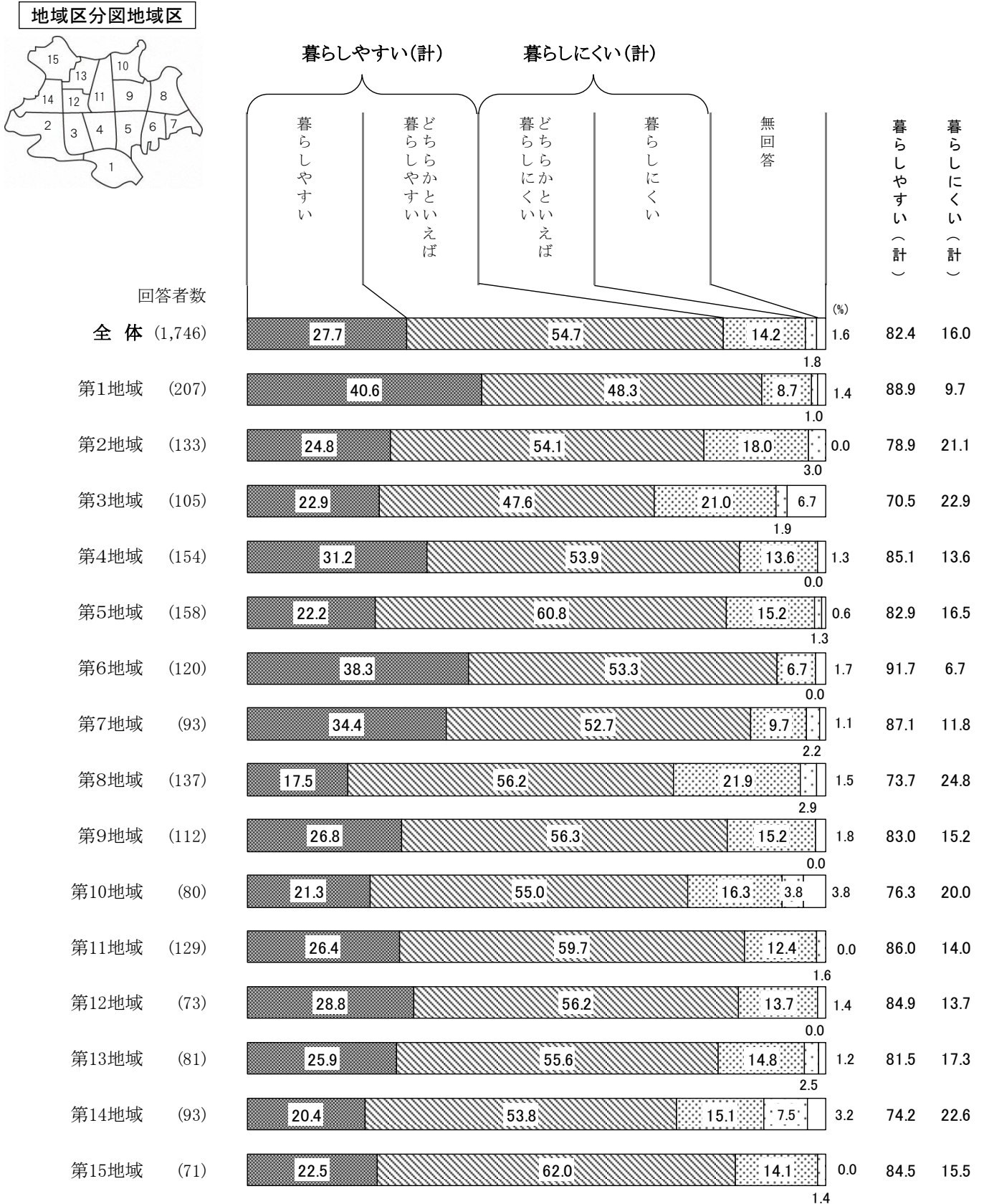


地域の暮らしやすさについて、「暮らしやすい」は27.7%で、「どちらかといえば暮らしやすい」(54.7%)を合わせた【暮らしやすい】(82.4%)は8割強を占めている。一方、「暮らしにくい」は1.8%で、「どちらかといえば暮らしにくい」(14.2%)を合わせた【暮らしにくい】(16.0%)は1割台半ばである。

経年でみると、【暮らしやすい】は、平成22年の85.7%を頂点として以降4年続けて漸減傾向にあったが、平成27年調査で79.3%と増加に転じ、今回調査でも前回の令和元年調査(81.9%)に近い82.4%と、平成29年以降4年続けて8割を超えている。一方、「どちらかといえば暮らしにくい」と「暮らしにくい」を合わせた【暮らしにくい】は、今回の調査では16.0%と、前回の令和元年調査(16.4%)に比べて大きな増減はみられず、平成25年～平成29年の5年間と比べると引き続き低めにとどまる傾向が継続している。

地域別でみると、【暮らしやすい】は第6地域で91.7%と最も高く、次いで第1地域（88.9%）と第7地域（87.1%）が9割弱で続いている。一方、【暮らしにくい】は第8地域が24.8%と最も高く、次いで第3地域（22.9%）と第14地域（22.6%）がともに2割強で続いている。

図1-3-2 地域別／地域の暮らしやすさ



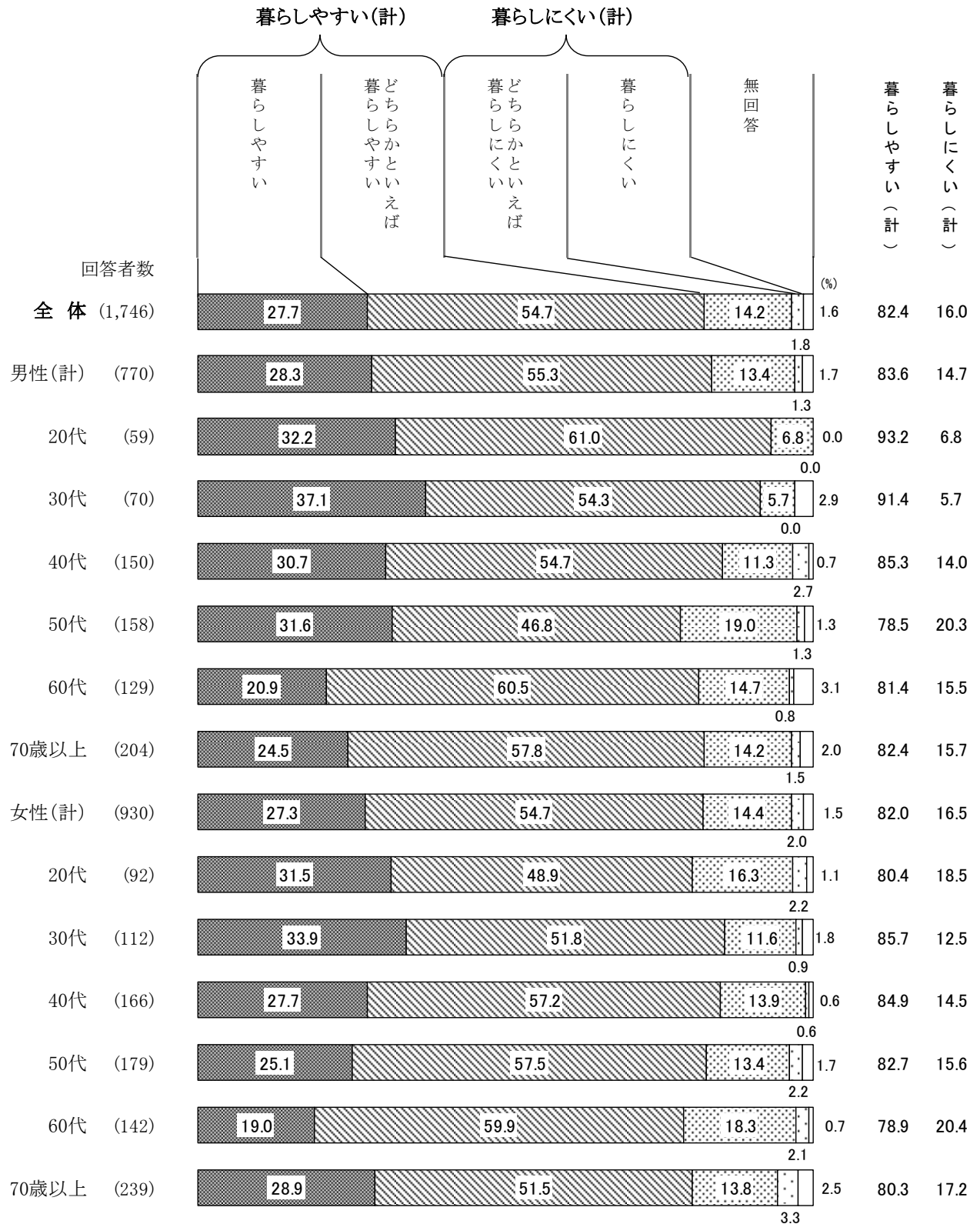
第3章 調査結果の分析〈定住性〉

性別でみると【暮らしやすい】は、男性83.6%、女性82.0%となっている。

性・年代別でみると、男性では、【暮らしやすい】は20代（93.2%）と30代（91.4%）で9割を超えて高く、【暮らしにくい】は50代で20.3%と2割を超えて最も高くなっている。

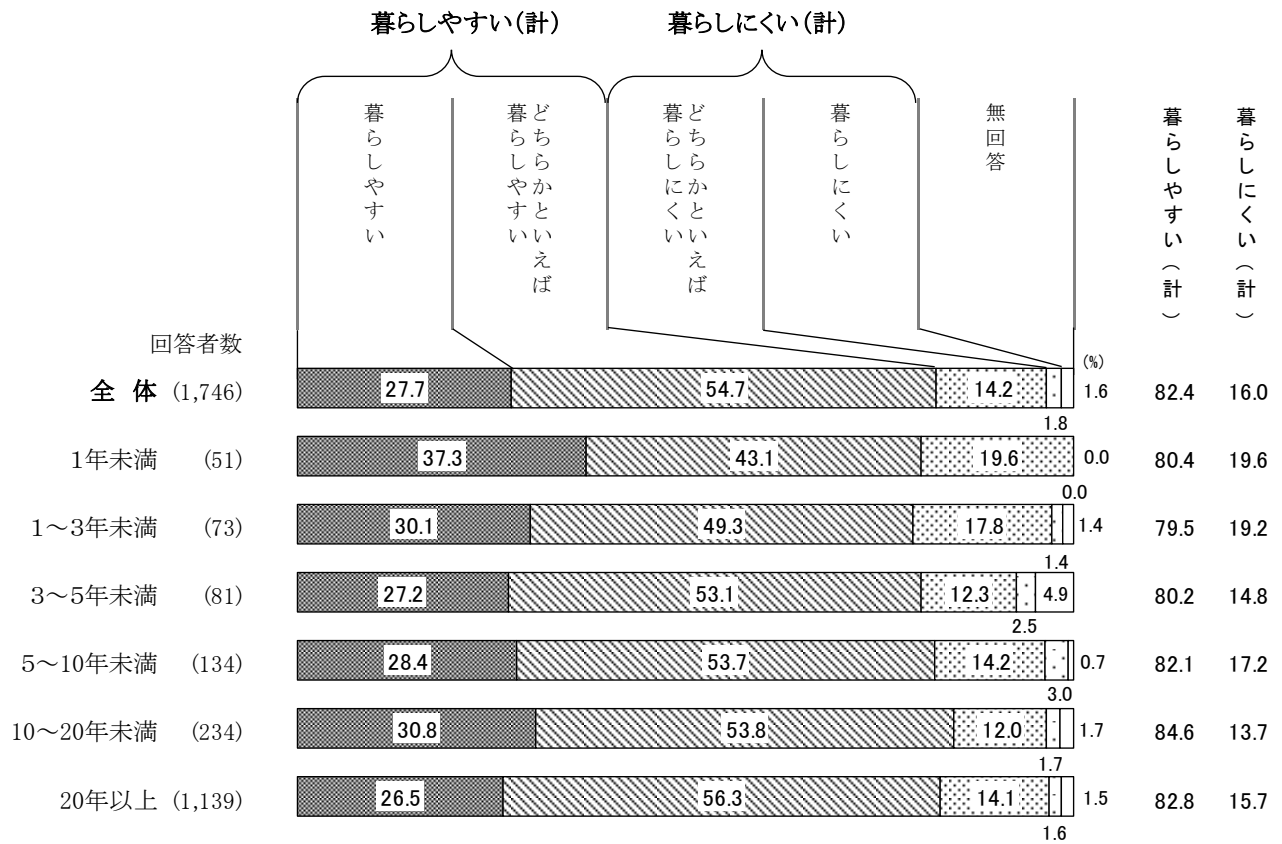
女性では、【暮らしやすい】は30代で85.7%と最も高く、【暮らしにくい】は60代で20.4%と最も高くなっている。

図1-3-3 性別、性・年代別／地域の暮らしやすさ



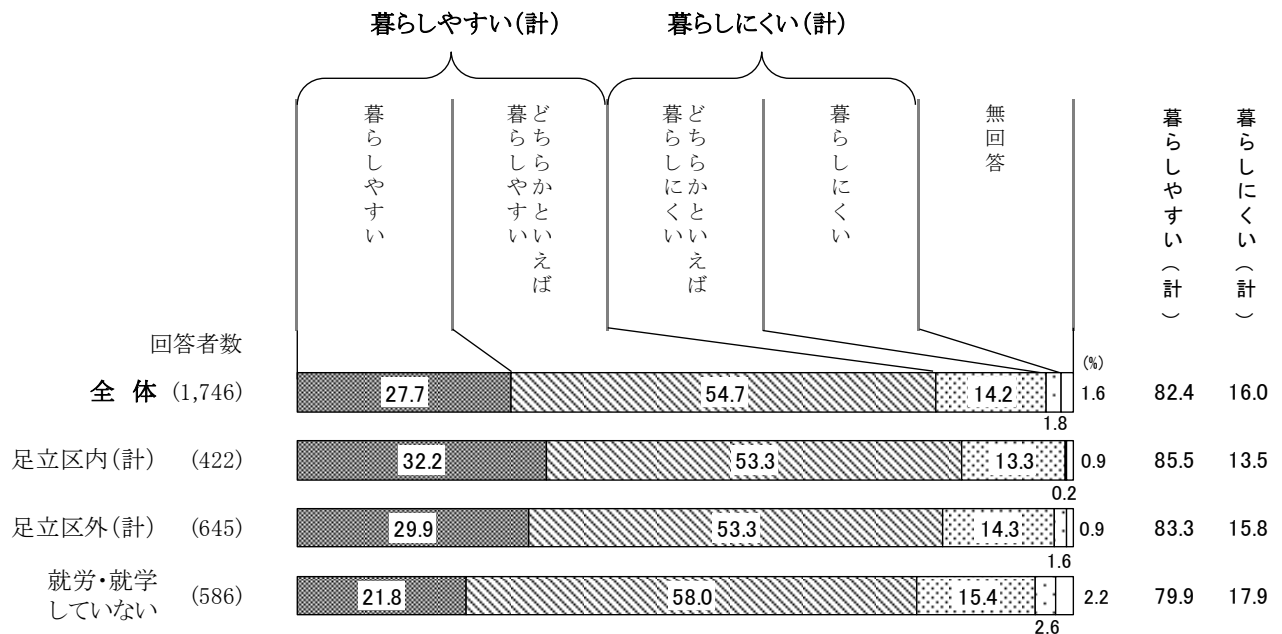
居住年数別でみると、大きな違いはみられない中で、【暮らしにくい】は「1年未満」と「1～3年未満」の両層で2割近くとやや高い傾向がみられる。

図1-3-4 居住年数別／地域の暮らしやすさ



就労・就学場所別にみると、大きな違いはみられない中で、【暮らしやすい】は「就労・就学していない」で最も低めとなっている。

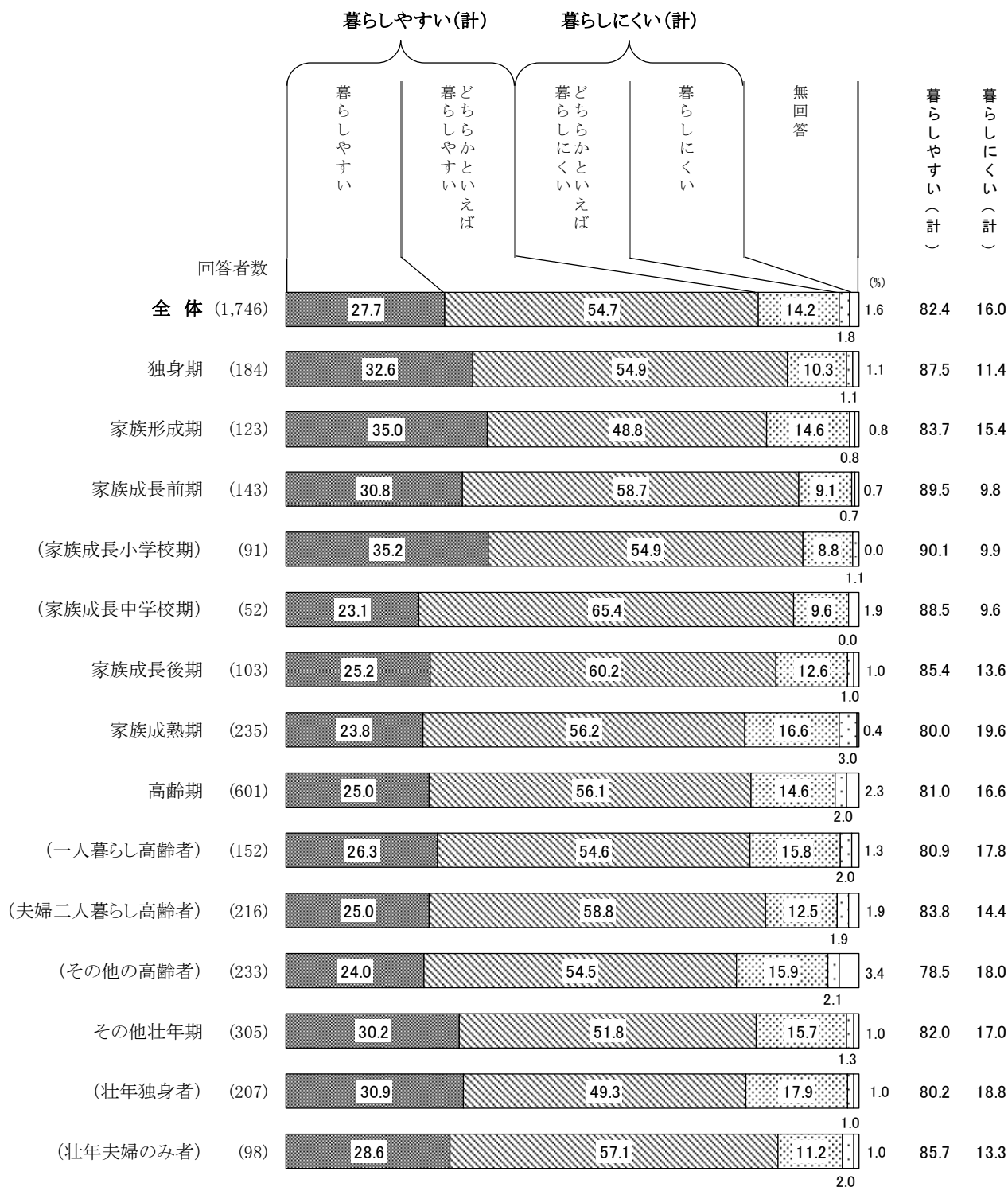
図1-3-5 就労・就学場所別／地域の暮らしやすさ



第3章 調査結果の分析〈定住性〉

ライフステージ別で見ると、いずれのステージでも【暮らしやすい】が8割台と大きな違いはみられないが、中では家族成長前期が89.5%で最も高い。

図1-3-6 ライフステージ別／地域の暮らしやすさ





(4) 特に暮らしにくいと感じること

■ “マナーやルールへの意識の低さ” が4割台半ばで最多、“交通の便の悪さ” が4割強

問3で「3 どちらかといえば暮らしにくい」、または「4 暮らしにくい」とお答えの方に  
 問3-1 特に暮らしにくいと感じることは何ですか (〇は3つまで)。

図1-4-1-① 経年比較/特に暮らしにくいと感じること

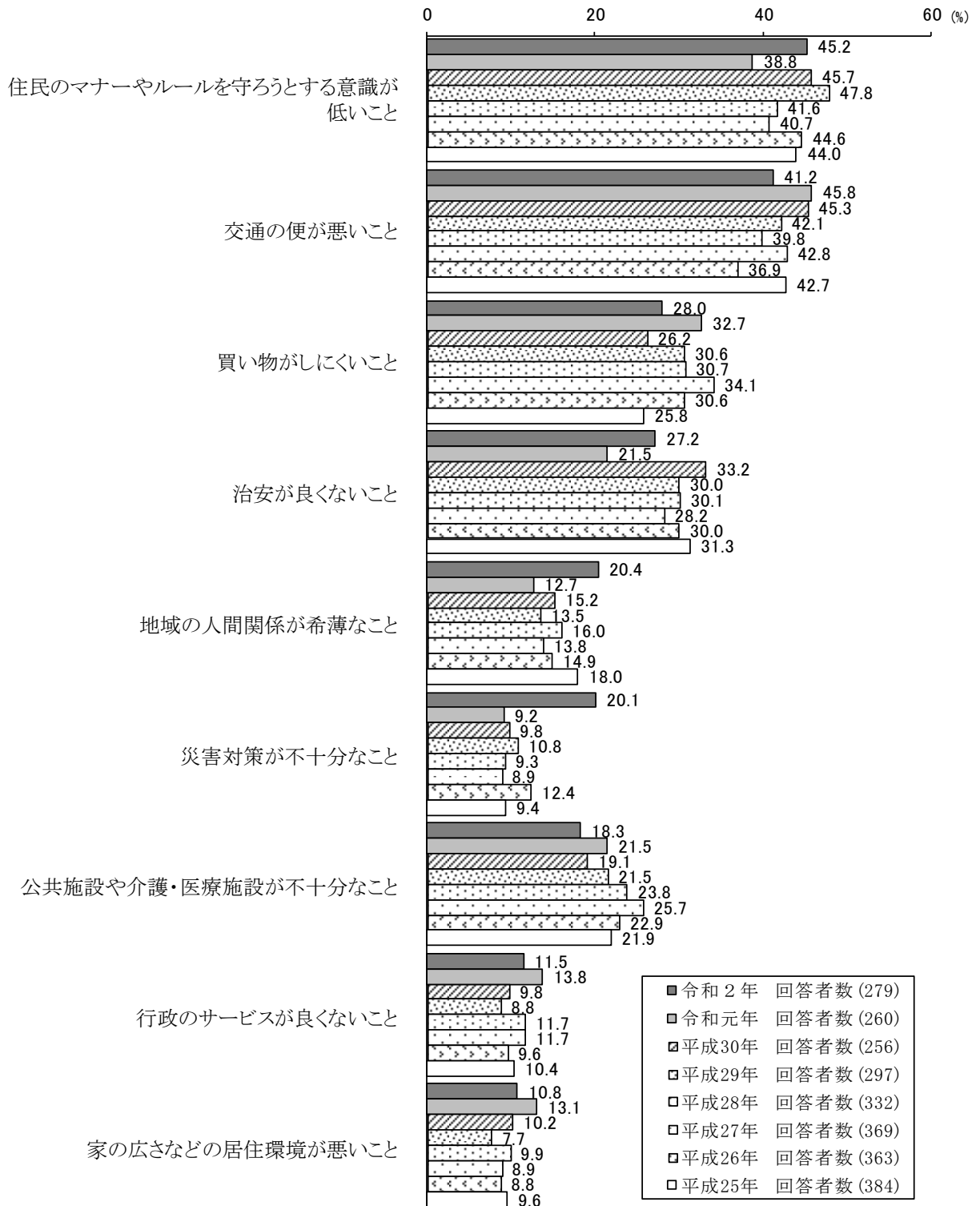
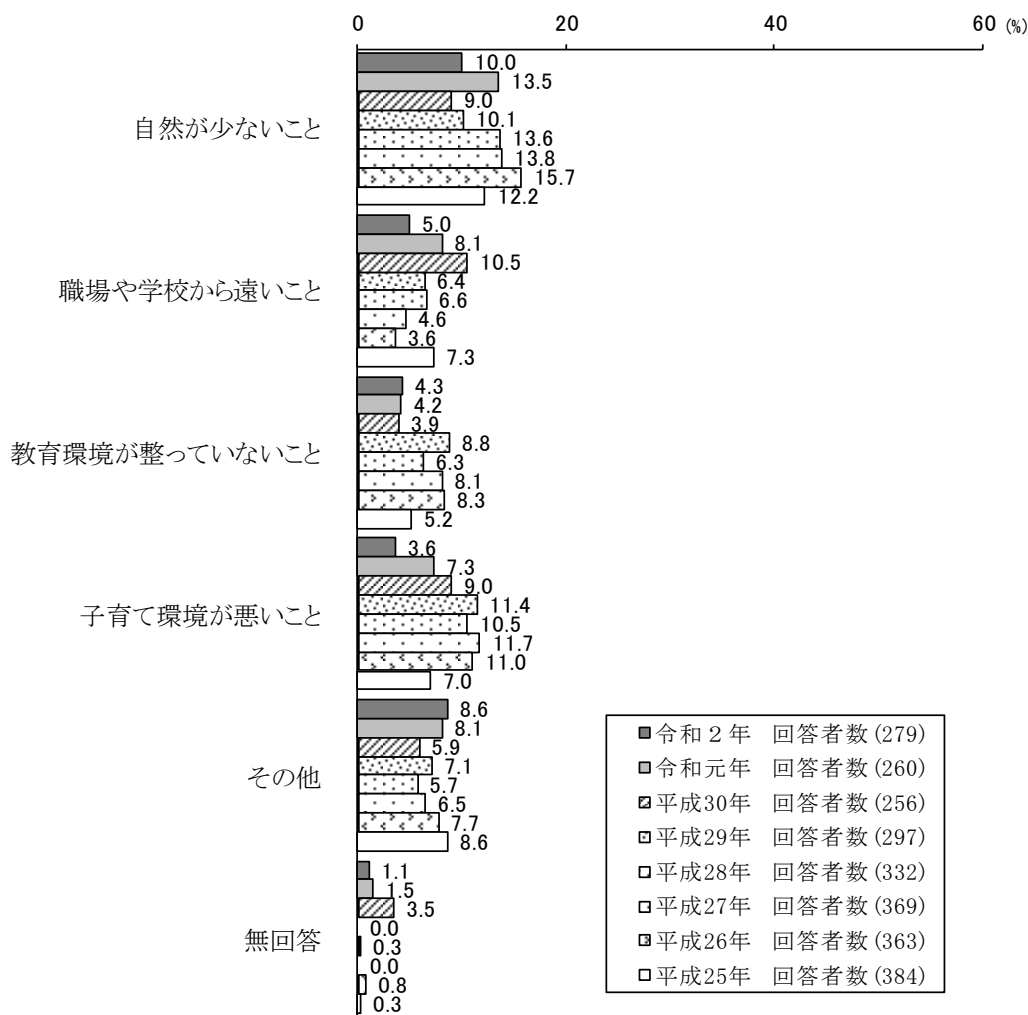


図1-4-1-② 経年比較／特に暮らしにくいと感じること

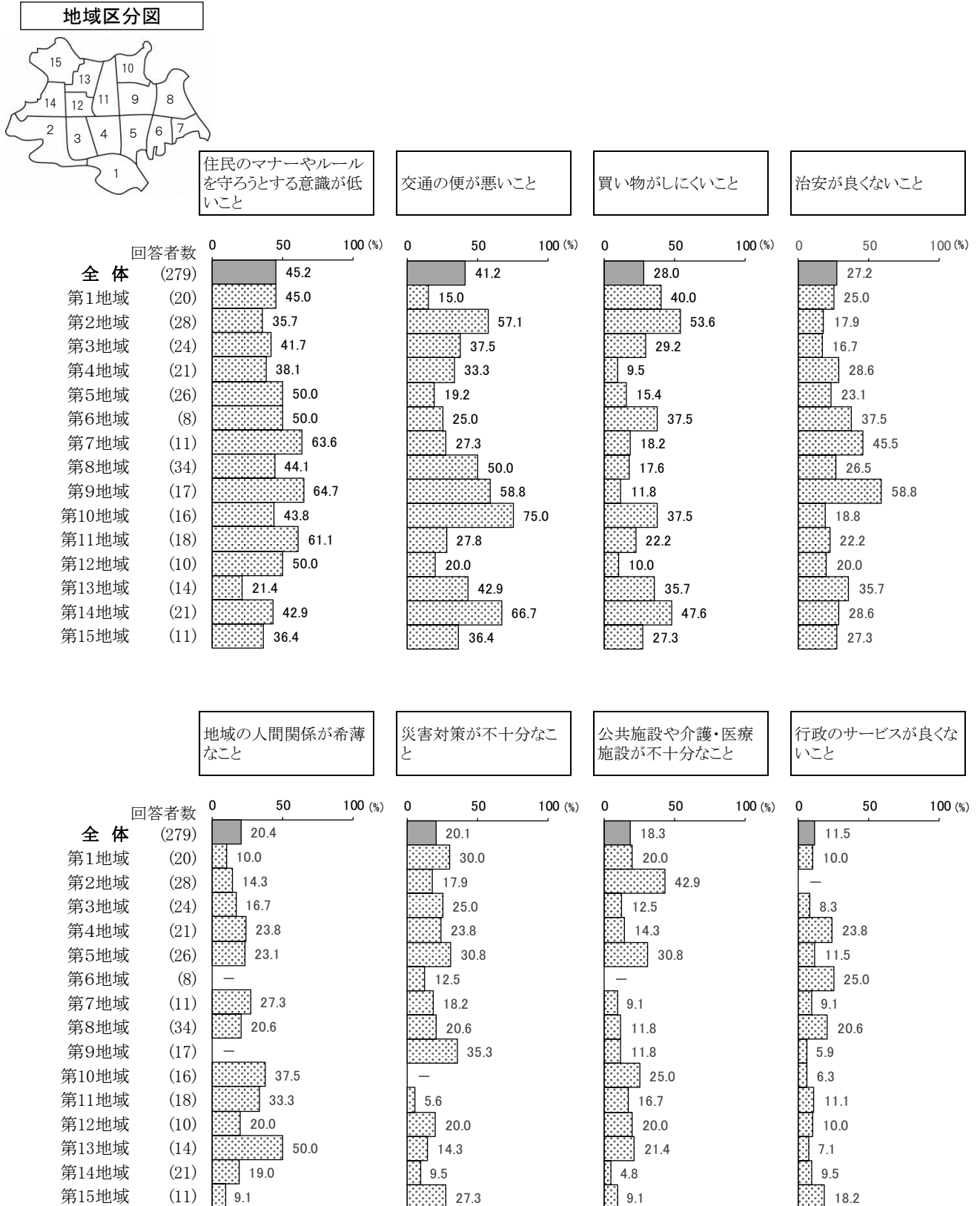


【暮らしにくい】という人に、その理由を聞いたところ、「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」(45.2%)が4割台半ばで最も高く、次いで「交通の便が悪いこと」(41.2%)が4割強で続き、「買い物がしにくいこと」(28.0%)と「治安が良くないこと」(27.2%)も3割弱と高くなっている。

上位項目について経年でみると、令和元年調査に比べて、トップの「住民のマナーやルールを守ろうとする意識が低いこと」と4位の「治安が良くないこと」が6ポイント前後増加しているのに対し、2位の「交通の便が悪いこと」と3位の「買い物がしにくいこと」はそれぞれ5ポイント近く減少している。その中で、「災害対策が不十分なこと」は前回の9.2%から今回20.1%と10.9ポイント増加して、増加幅が最も大きくなっている。

地域別でみると、地域によって回答者数が少ないところがあることから参考値にとどめる必要があるものの、「交通の便が悪いこと」は第10地域で7割台半ば、「治安が良くないこと」は第9地域で6割弱と、それぞれ全地域中最も高くなっている。

図1-4-2 地域別／特に暮らしにくいと感じること／上位8項目

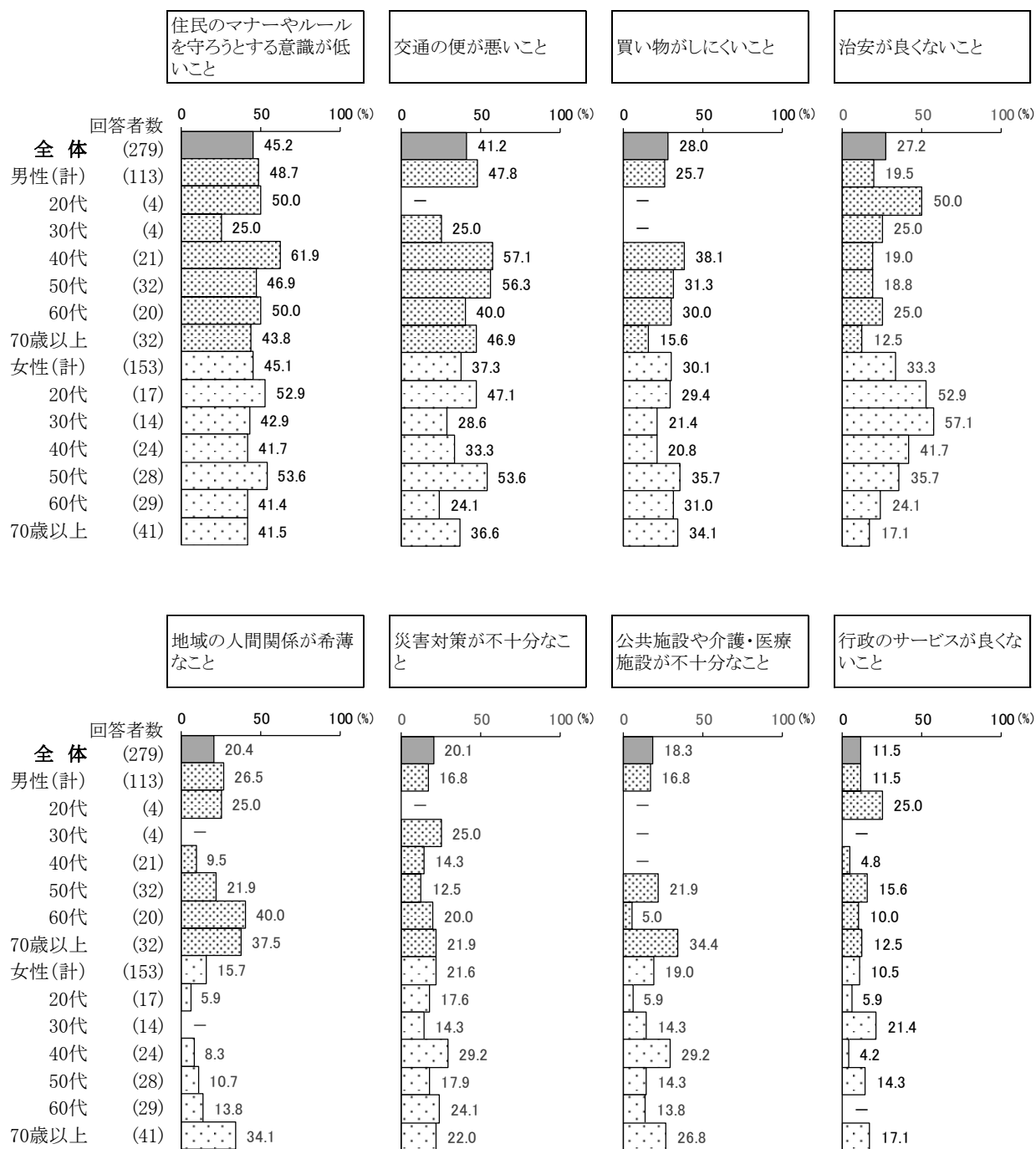


第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

性別でみると、「交通の便が悪いこと」は女性より男性で、「治安が良くないこと」は男性より女性で、それぞれ10ポイント以上高くなっている。

性・年代別でみると、サンプル数が少ない層が多いことからあくまで参考値ながら、性差の大きかった「交通の便が悪いこと」は男性の40代と50代で、「治安が良くないこと」は女性の20代と30代で、それぞれ高めとなっている。

図1-4-3 性別、性・年代別／特に暮らしにくいと感じること／上位8項目

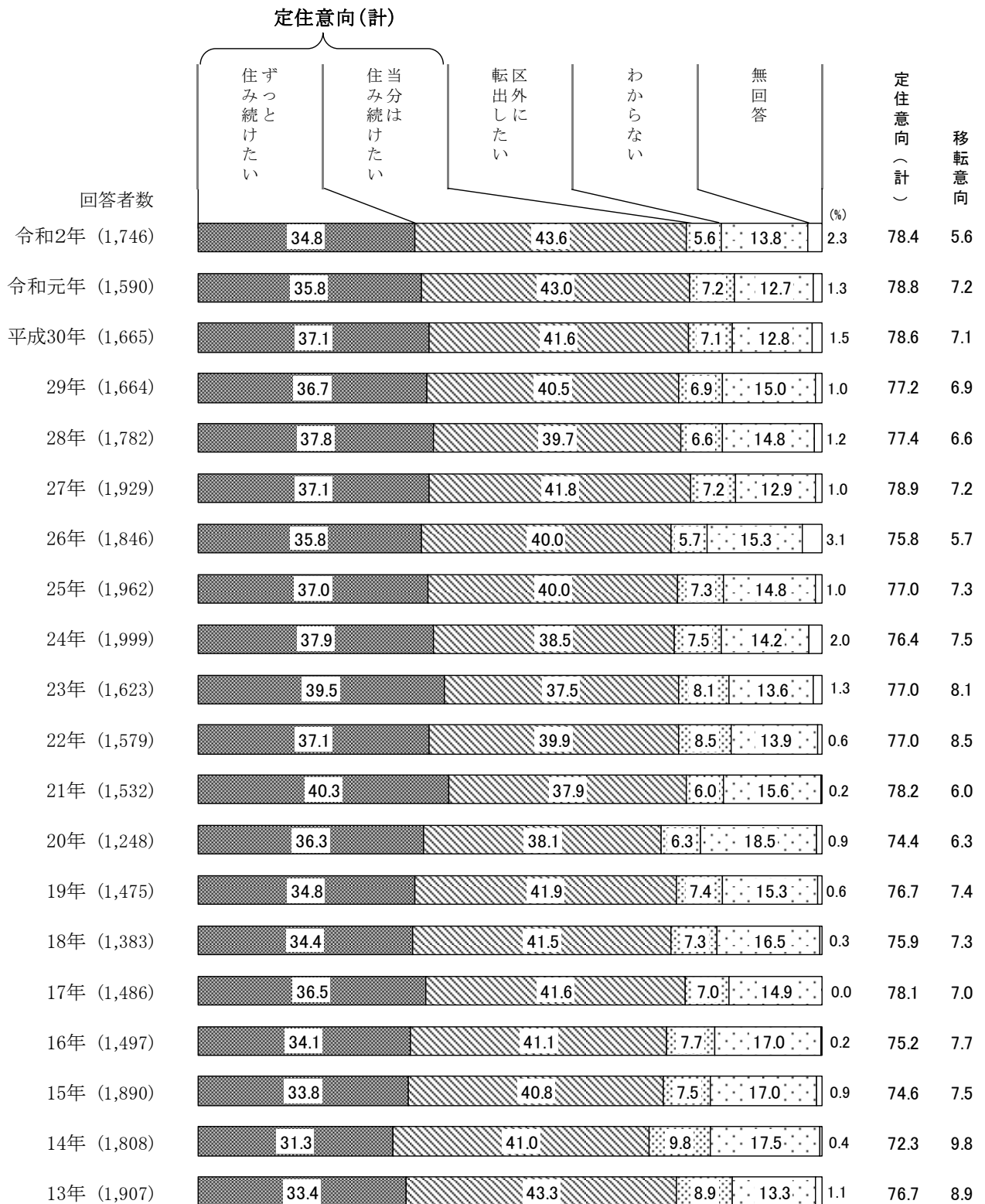


(5) 定住意向

■【定住意向】がある人は、8割弱で、平成27年以降の最近6年間はほぼ横ばい

問4 あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか（○は1つだけ）。

図1-5-1 経年比較／定住意向



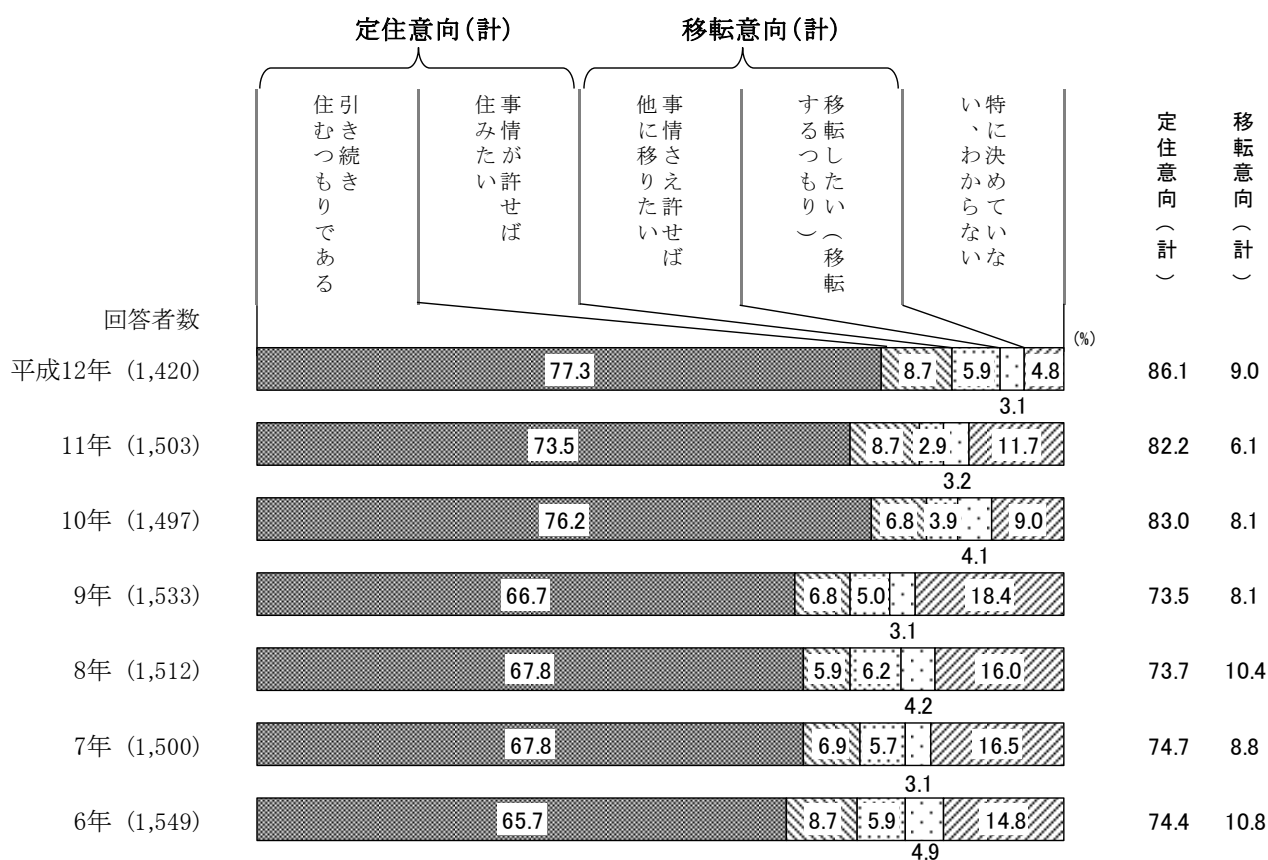
### 第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

足立区への定住意向をみると、「ずっと住み続けたい」は34.8%で、「当分は住み続けたい」(43.6%)を合わせた【定住意向】は78.4%と8割弱を占めている。一方、「区外に転出したい」は5.6%と1割未満である。

経年でみると、現行の選択肢となった平成13年以降、大きな変動はみられないが、今回の【定住意向】は78.4%と、平成30年以降3年続けてほぼ同レベルとなっている。

#### 参考／定住・移転意向の推移

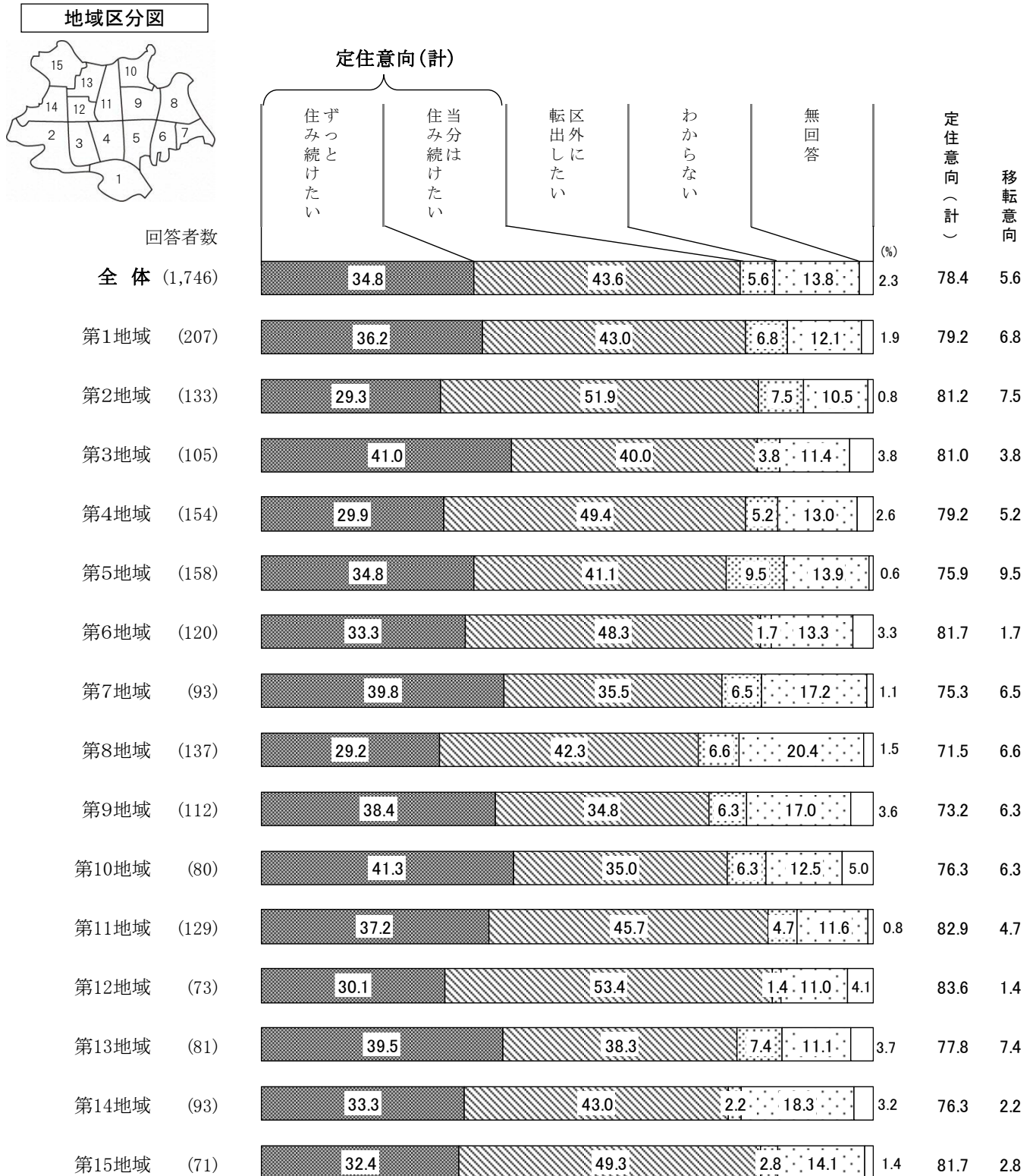
問 あなたは、足立区に今後も住み続けたいと思いますか。この中から1つにお答えください。  
(○は1つ)



※ 平成12年度までと平成13年度以降では、調査方法（平成12年度までは訪問面接法、平成13年度以降は郵送配布郵送回収法）、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

地域別でみると、【定住意向】は第12地域で83.6%と最も高く、次いで第11地域が82.9%が続くが、第2地域、第3地域、第6地域、第15地域も僅差の81%台で並んでいる。一方、「区外に転出したい」という【移転意向】は第5地域で9.5%と最も高い。

図1-5-2 地域別／定住意向

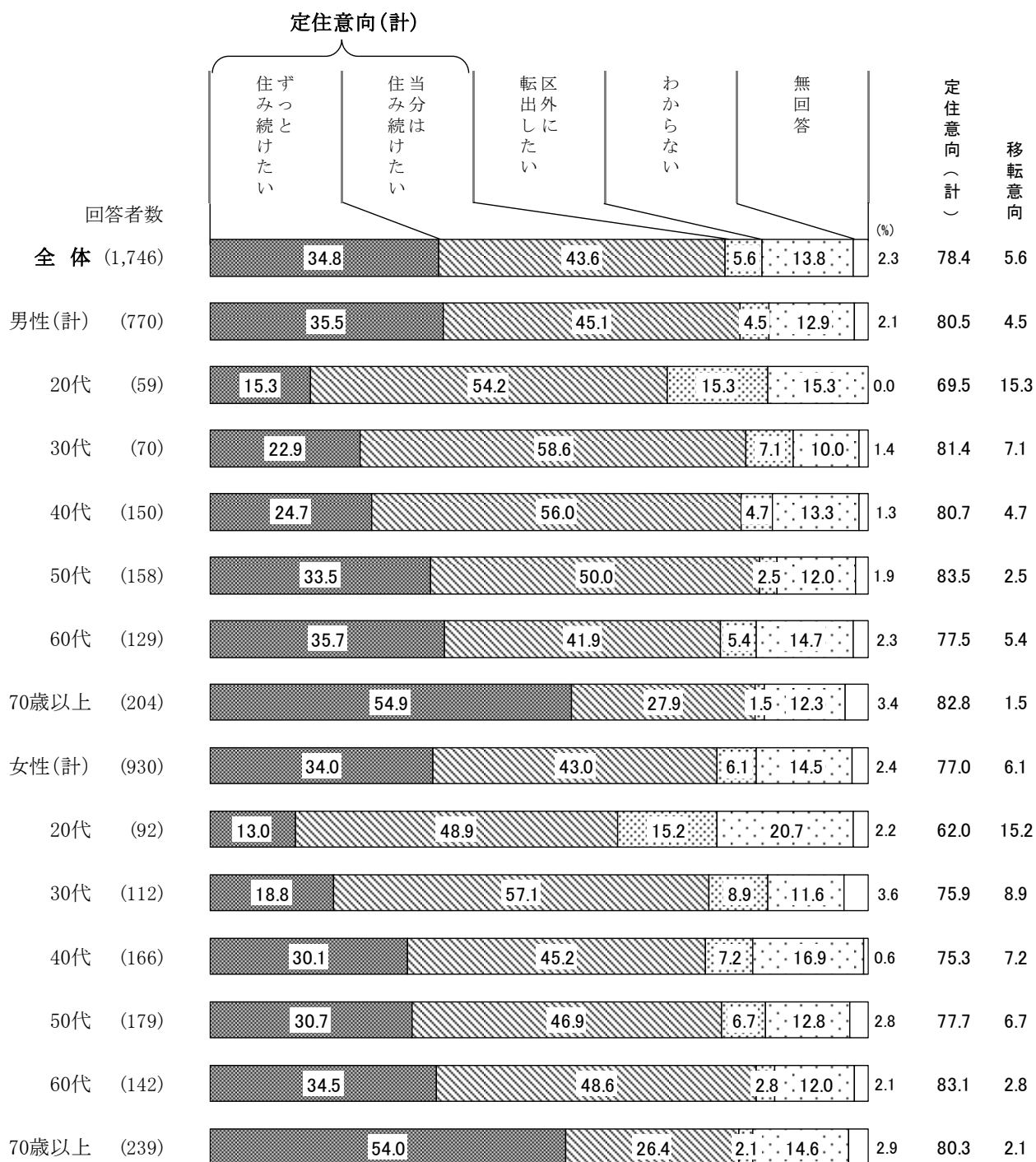


第3章 調査結果の分析〈定住性〉

性別でみると、【定住意向】は、男性80.5%、女性77.0%となっている。

性・年代別でみると、【定住意向】は、男性では50代が83.5%で、女性では60代が83.1%でともに最も高く、男女ともに20代（男性69.5%、女性62.0%）で低くなっている。

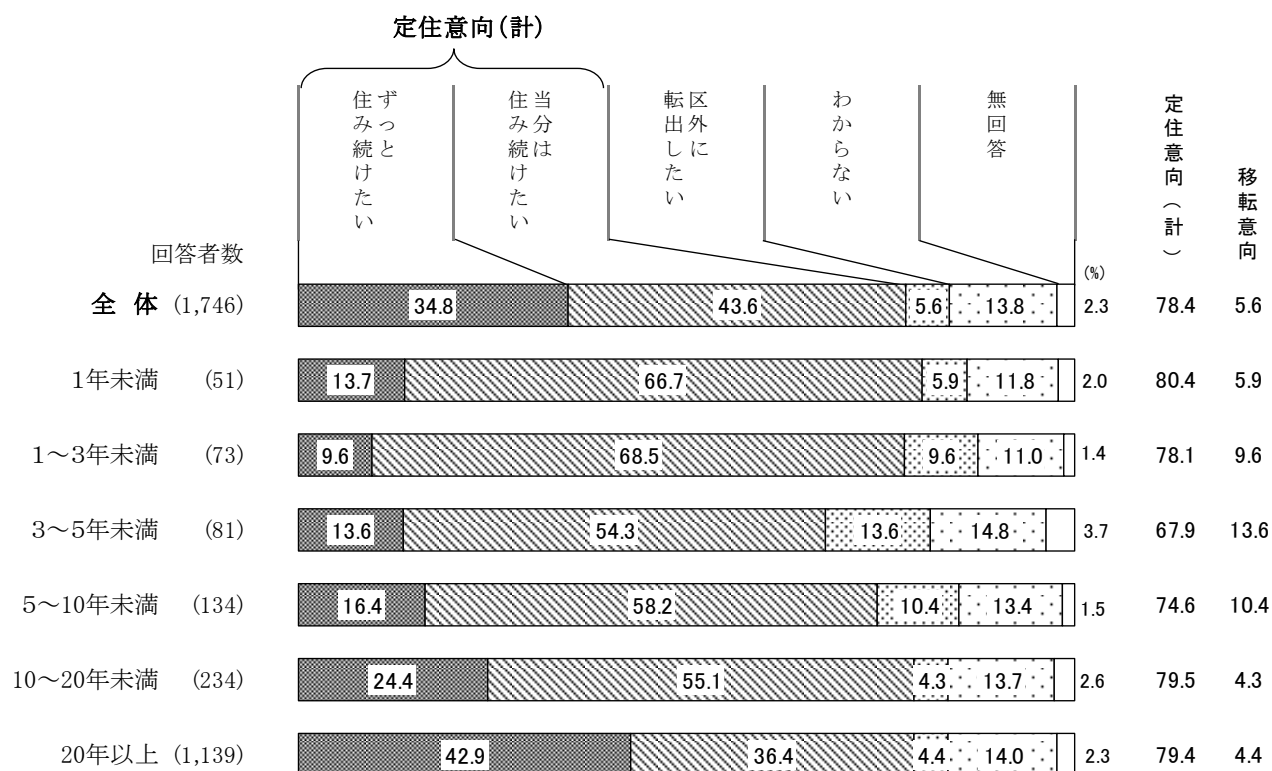
図1-5-3 性別、性・年代別／定住意向





居住年数別でみると、【定住意向】は1年未満（80.4%）と10～20年未満（79.5%）、20年以上（79.4%）の3層で8割前後と高く、3～5年未満（67.9%）で7割弱と低くなっており、居住年数の長短による一定の傾向はみられない。

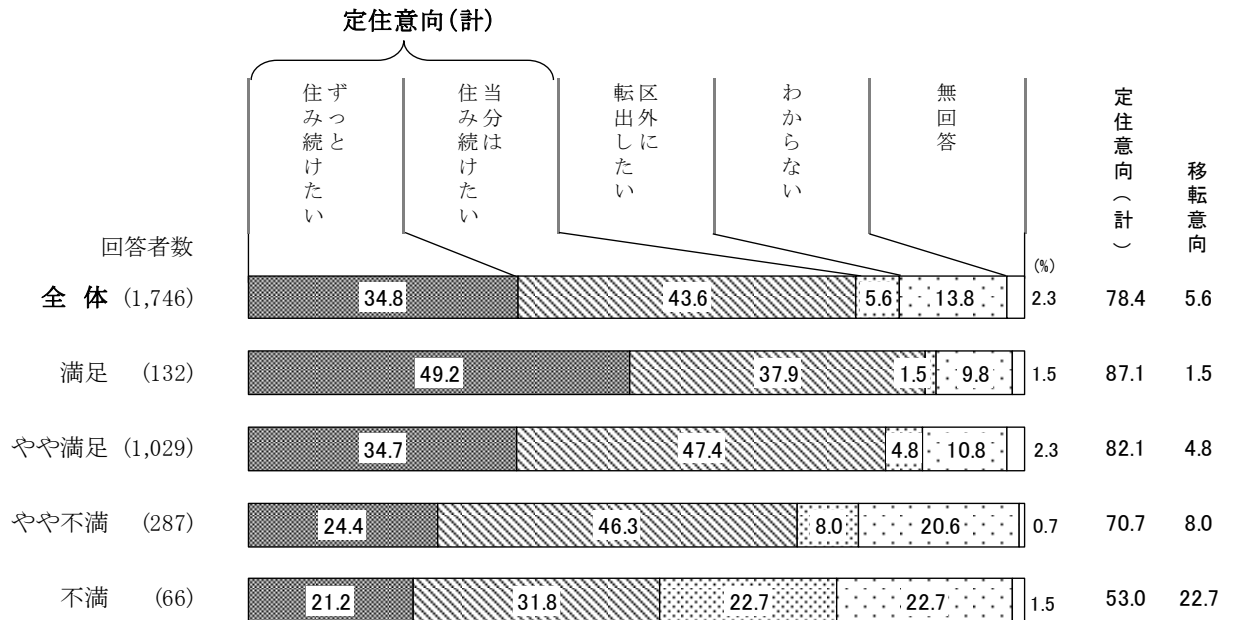
図1-5-4 居住年数別／定住意向



第3章 調査結果の分析 〈 定住性 〉

区政への満足度別にみると、満足度が高くなるにつれて【定住意向】は高くなり、満足という層では87.1%と9割弱となっている。一方で、不満という層では【移転意向】(22.7%)が2割強と高くなっている。

図1-5-5 区政満足度別／定住意向



ライフステージ別でみると、【定住意向】は家族成長前期で81.8%と最も高く、高齢期（81.4%）家族成長後期（79.6%）の両層も8割前後で高めとなっているが、独身期（67.9%）では7割弱と最も低くなっている。

図1-5-6 ライフステージ別／定住意向

